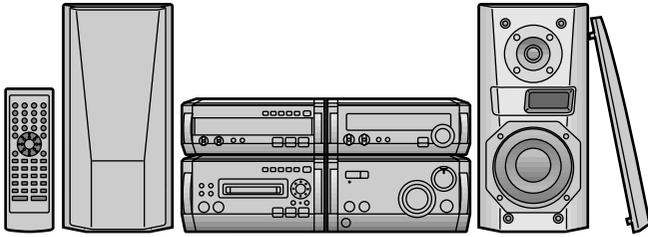
Panasonic®

MD ステレオシステム

取扱説明書

品番　SC-HD615MD

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5180-S

もくじ

まず
確認と準備

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

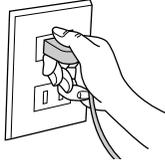
⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

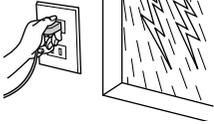
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

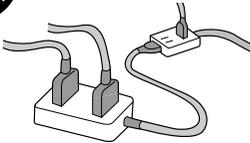
雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線、機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

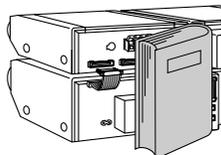
以下のようなときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

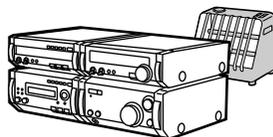
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

以下のことを守り正しく設置する

- **不安定な場所に置かない**
- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD、MD 挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

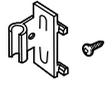
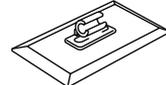
- **⊕や⊖は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

☐ FM 簡易型アンテナ……………1 本
（品番 RSA0006）

☐ AM ループアンテナ ……………1 組
（品番 RSA0021）

（据置用）

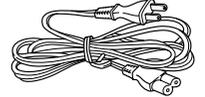
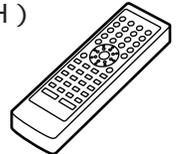
（壁掛用）

☐ フラットケーブル ………………2 本
（青）（品番 REX0900）

（黒）（品番 REX0812）

☐ スピーカーコード……………各 2 本
（赤／黒）（品番 REE0499）
（灰／青）（品番 REE0853）

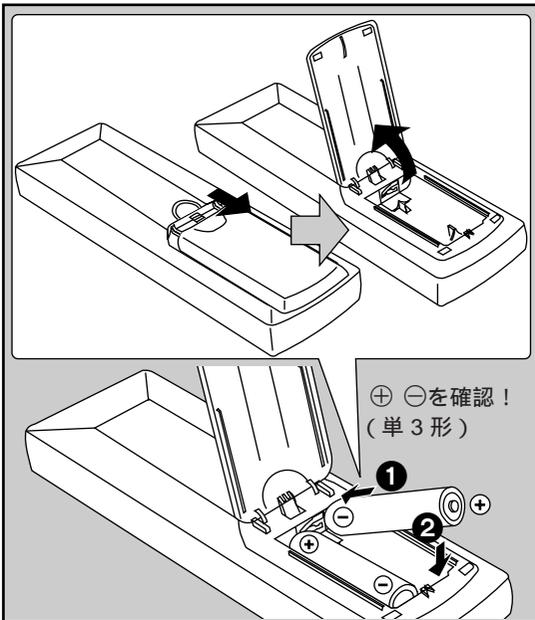
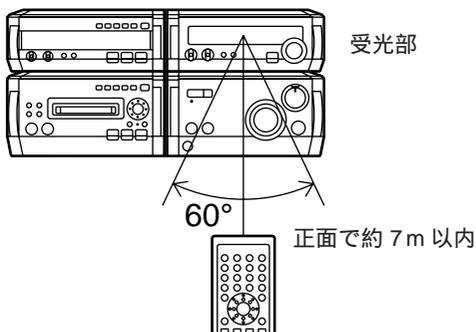
☐ オプティカル・デジタルケーブル‥1 本
（品番 RJL1X008B05）

☐ 電源コード ……………………1 本
（品番 RJA0059-J）

☐ リモコン ………………………1 コ
（品番 RAK-HDB02WH）

☐ リモコン用単 3 形乾電池…………2 本

- 電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

（　）カッコ内は、買い替え時の品番です。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

■使用上のお願い

- 表示パネル内の受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコン先端のほこりに注意。

■故障防止のために

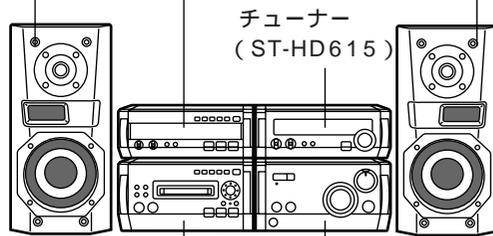
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど、液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

設置

ヨコ置きするとき

タテ置きするとき

チューナー（ST-HD615）
アンプ（SE-HD615）
CDチェンジャー（SL-HD615）
MDチェンジャーデッキ（SJ-HD615）

■よりよい音で聞くために

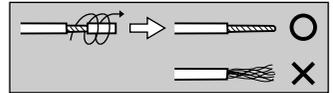
スピーカーは、本体に密着させないで、少し離して置きましょう。

お知らせ

近くに磁石など、磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

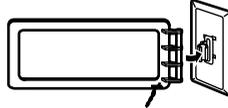
電源コードは、最後につないでください。

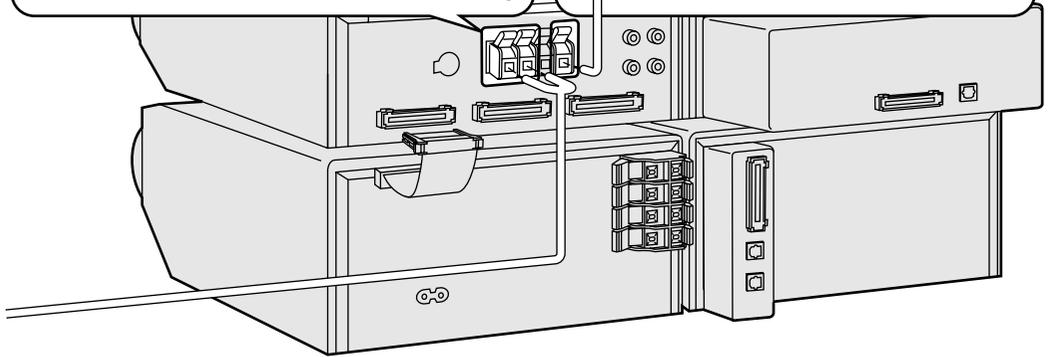
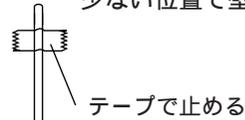
1 アンテナ

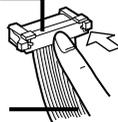
●コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

AM ループアンテナ

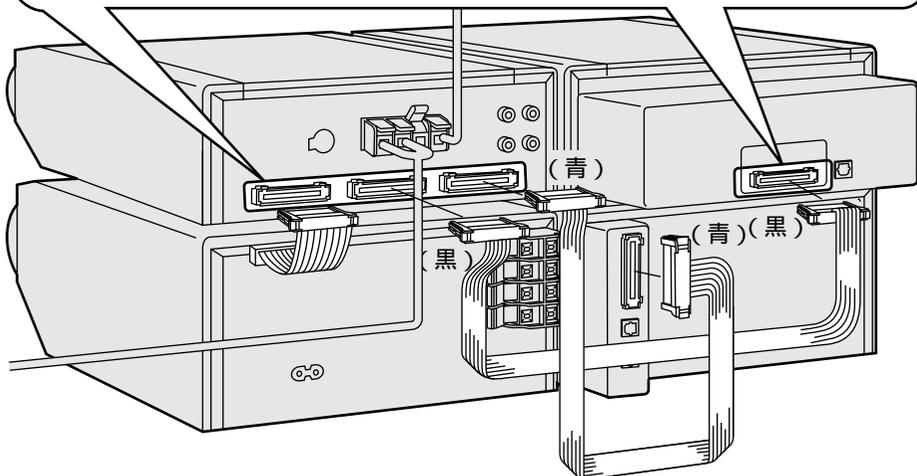
つないだあと、実際に放送を受信してみて（➪16 ページ）、雑音の少ない場所に置きます。MD デッキから離したほうが感度は良くなります。

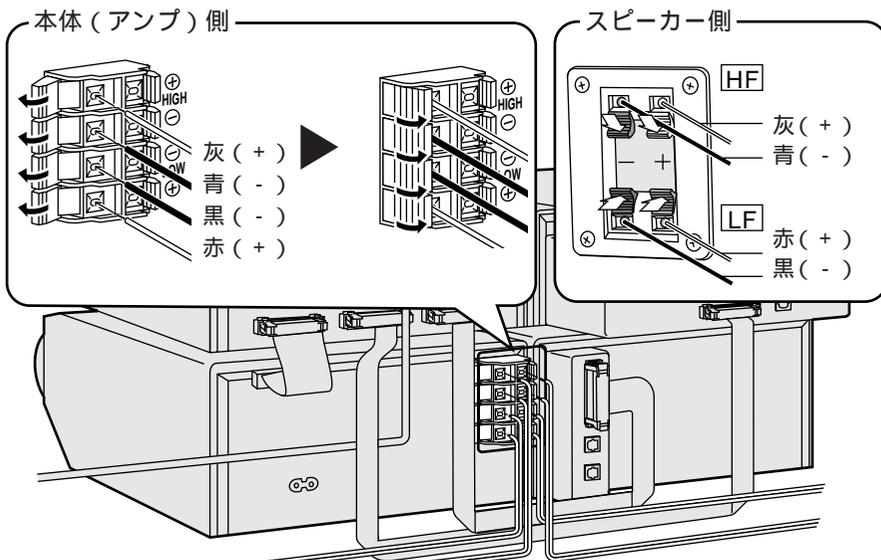
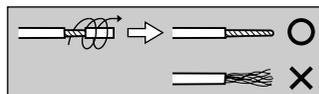
■穴のあるアンテナホルダーを使うと

●ネジ（付属）を使って壁や柱に、
●ネジなしでカセットデッキ（別売り：RS-HD615）に取り付けることもできます。

FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➪16 ページ）、雑音の少ない位置で壁や柱に止めます。

2 フラットケーブル

後面表示（B1 ・ B2 など）に従い、カチッと音がするまで、コネクターを順に差し込みます。

抜くには

両端をつまんで、抜く。

3 スピーカーコード

- コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。
- 端子のレバーの色に合わせて、コードをつなぎます。

お願い

- **付属のスピーカー以外は、ご使用になれません。**
  本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。**

4 オプティカル・デジタルケーブルと電源コード

オプティカル・デジタルケーブル

ケーブルは、必ず付属のものをお使いください。

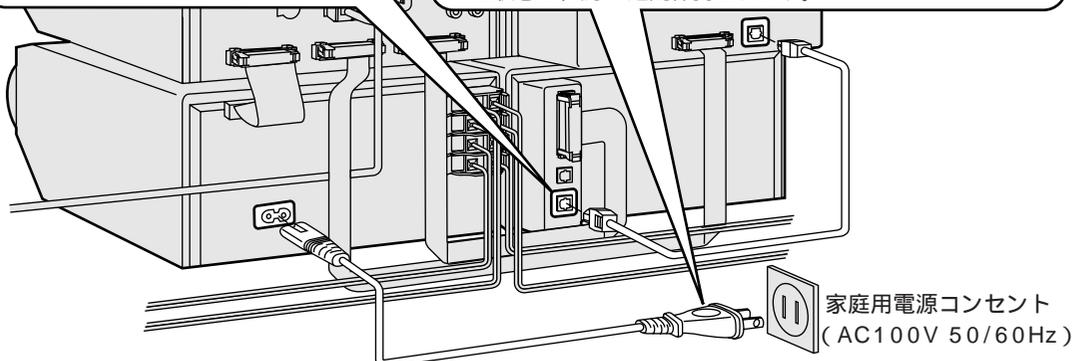
① 防塵キャップをはずす。
② 形状を合わせて接続する。

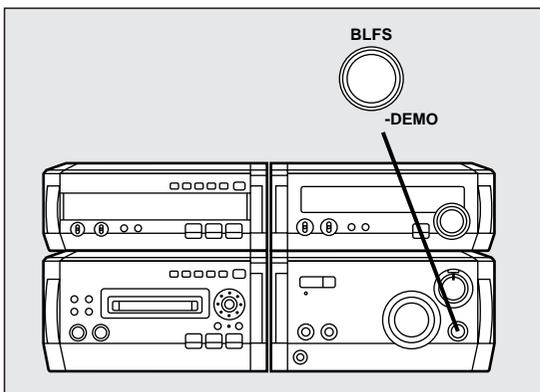
電源コード

長期間使用しないときは

節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。
［POWER］で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

- **ECO モードのとき**　：0.5W
- **NORMAL モードのとき**：　9W

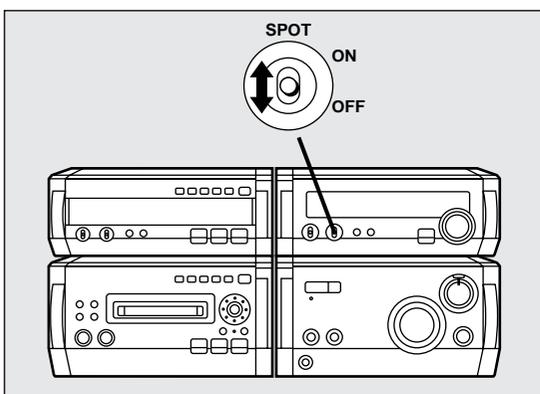
本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます。

カセットデッキなど、別売り機器の接続は ⇨46・47ページ

デモ機能を「切」にする

●電源コードをつなぐと、表示が次々に変化するデモ機能が、自動的に働きます。
●お買い上げ時の設定は「入」です。
●節電機能を効果的に使うために、デモ機能は「切」にしておきましょう。

“ NO DEMO ” と表示するまで
［BLFS、ー DEMO］を押し続ける

押すたびに
DEMO MODE（入）⇄ NO DEMO（切）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。

サイドライトを入／切する

就寝時など、暗い部屋でライトの明るさが気になるときは「切」にします。

［SPOT］を ON（入）または OFF（切）にする

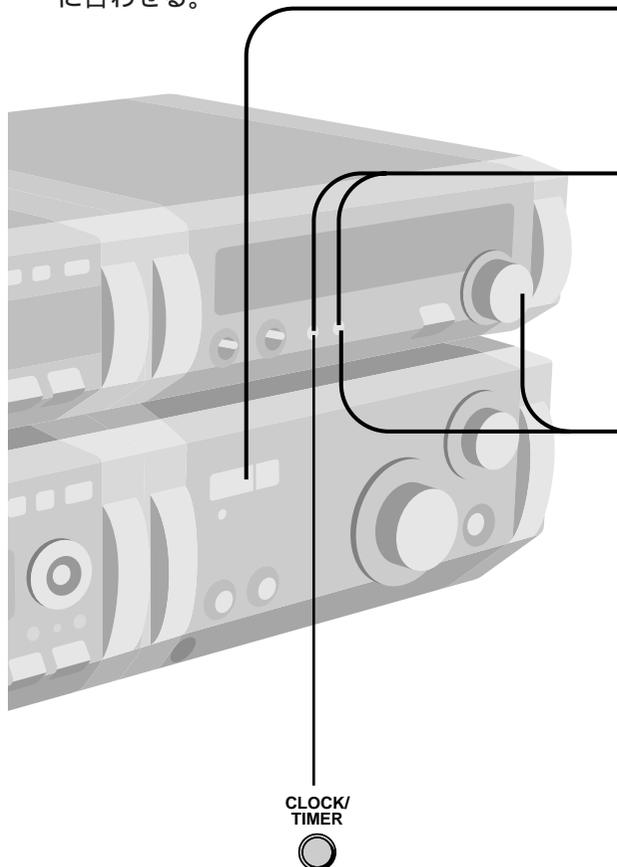
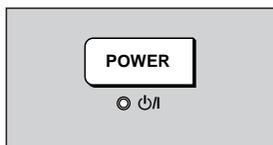
お知らせ

電源「入」時にデモが働いた場合は、［SPOT］の設定に関係なくライトが点灯します。

時計を合わせる（24 時間表示）

例：水曜日の 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

待機時の節電機能について

1

押して
電源を入れる
⏻/I ランプが消灯します。

2

押して
“ CLOCK ” を選び

約 7 秒以内に
押す

押すたびに
CLOCK → ◷PLAY → ◷REC
↑ 元の表示 ←

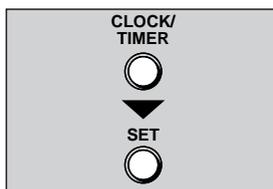
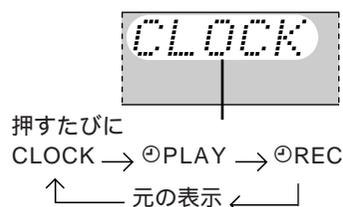
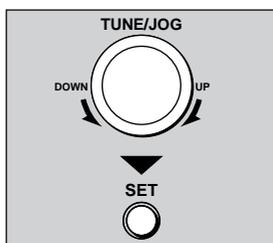
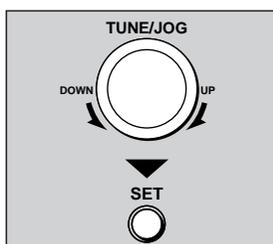
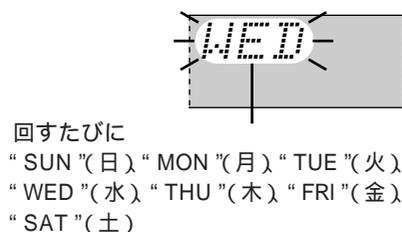
3

回して
曜日を選び

押す

WED

回すたびに
“ SUN ”(日)、“ MON ”(月)、“ TUE ”(火)、“ WED ” (水)、“ THU ” (木)、“ FRI ” (金)、“ SAT ” (土)

TUNE/JOG
DOWN
UP
SET

回して
時刻を選び

時報に合わせて
押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

16 : 25

■時計を表示させるには

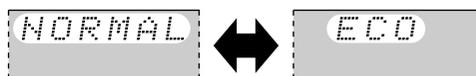
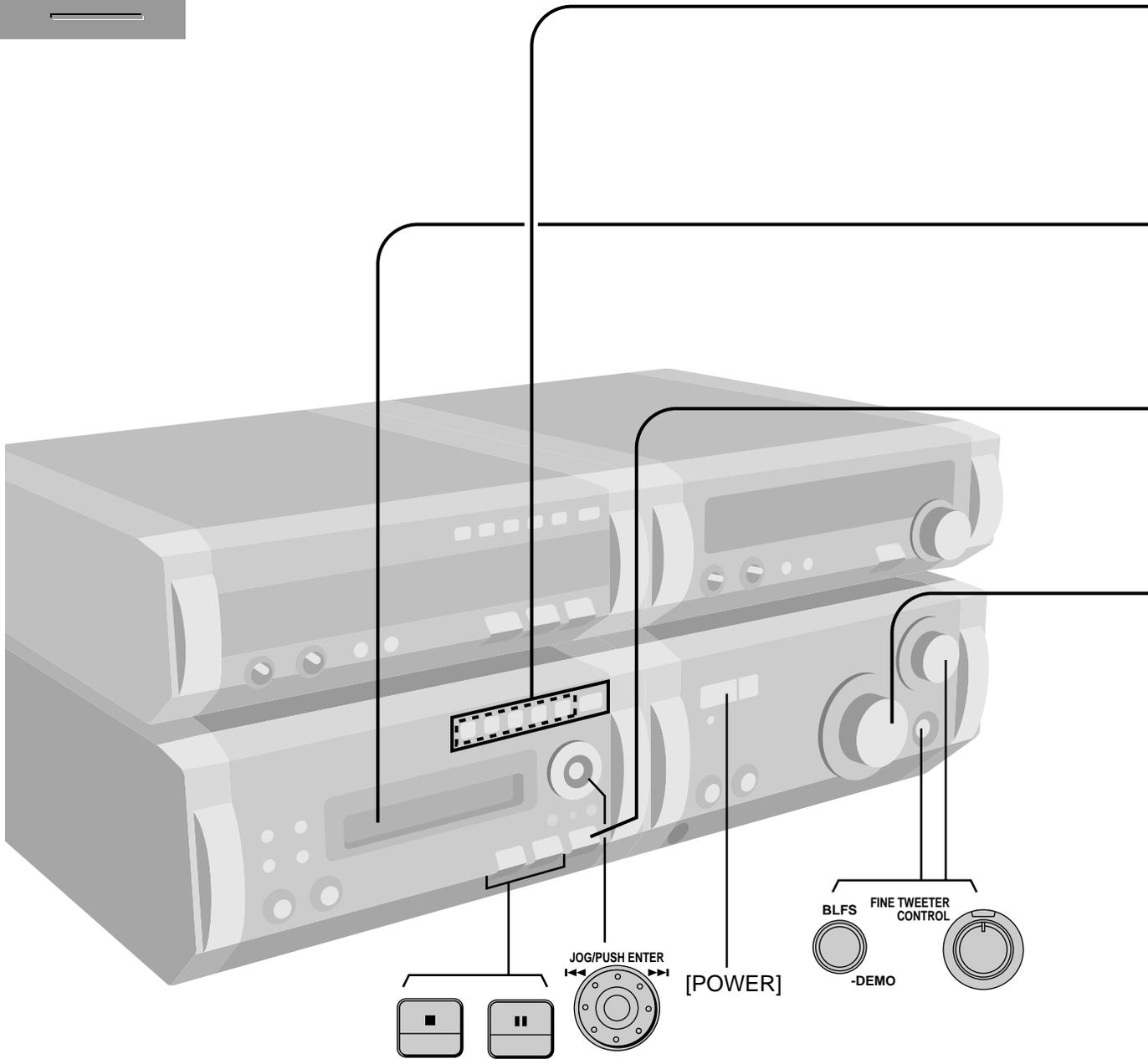
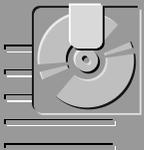
押す
（約 5 秒間表示して、元の表示に戻る）

- 電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。
- お買い上げ時の設定は「ECO」です。

モード	ECO	NORMAL
表示パネル	全消灯（⏻/I ランプのみ点灯）	時計表示など
待機時の消費電力	0.5 W	9 W

節電機能の切り換えかた

電源を入れ、［MODE］を押す
現在のモードを表示します。
モード表示中にもう一度押すと、NORMAL/ECO が切り換わります。

ECO

お知らせ
電源「切」時でも、NORMAL → ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

DISC1～5 ランプについて

● （消灯）	MD が入っていない
○（オレンジ点灯）	MD が入っている
○（オレンジ点滅）	MD ローディング中・排出中
○（グリーン点灯）	演奏中
○（グリーン点滅）	一時停止中

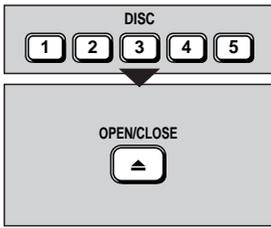
●ワンタッチで聞くには リモコンのみ

電源「切」の状態で、［MD］を押す。
演奏位置にある MD の 1 曲目から、演奏が始まります。

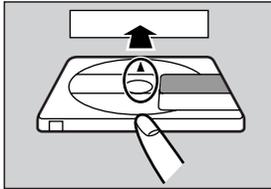
●“ SP ” または “ LP ” と表示したら

SP ：演奏中の曲がステレオ
LP ：演奏中の曲がモノラル

準備：電源を入れる。

1

押して
MD を入れるディスク番号を選び

押す
MD 扉が開きます。

2

録音済み MD を入れる
途中から、自動的に引き込まれます。
- **MD は、図の向きに正しく挿入してください。**

3

押す
1 曲目から演奏が始まります。
（[DISC1] ～ [DISC5] でも演奏可能）

4

回して
音量を調節する

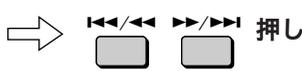
VOLUME -48dB

小（-- dB） 大（0 dB）

■**途中で止めるには** ⇨ **押す**

■**一時停止するには** ⇨ **押す**
（再開するには、[❚❚] または [▶] を押す）

■**曲を前後にとび越す（スキップ）には** ⇨ JOG/PUSH ENTER **回す**

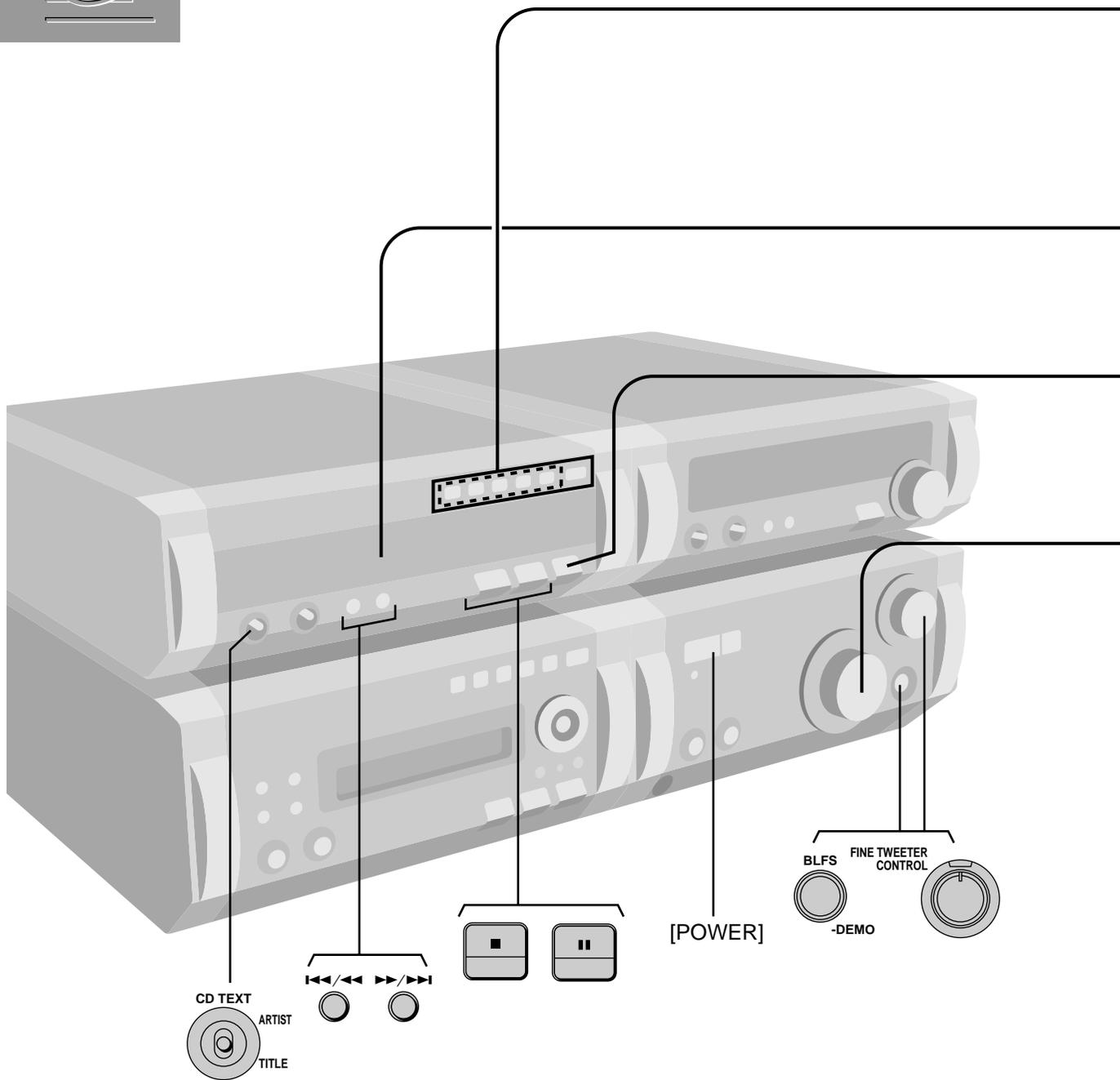
■**早送り／早戻し（サーチ）するには** ⇨ ◀◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶▶ **押し続ける**

■ **MD を取り出すには** ⇨ ディスク番号を選び OPEN/CLOSE **押す**
（もう一度押して MD 扉を閉める）

■**高音を調節するには** ⇨ FINE TWEETER CONTROL **回す**
（ヘッドホン使用時は効果がありません）

■**重低音を調節するには**
（BLFS ＝ Brisk Low Frequency Sound）
⇨ BLFS -DEMO **ポンポンと押す**
押すたびに
BLFS HIGH（強）→ LOW（やや強）→ LIGHT（弱）→ FLAT（解除）→ BLFS HIGH（強）

●**ワンタッチで MD 扉を開くには**
[▲OPEN/CLOSE] を押し続け、開きたいスロットの番号が表示されたら、指を離す。
MD 扉が開きます。

●**“Take out MD”“Press CLOSE！”と表示したら**
挿入口に MD を残したまま電源を切ろうとしました。MD を取り出し、[▲OPEN/CLOSE] を押してください。

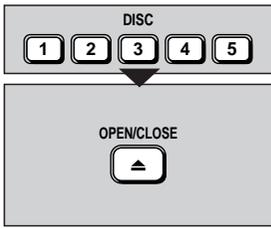
お知らせ
- 演奏中に他の MD を入れたり、交換することはできません。必ず停止状態で行ってください。
- 「故障防止のために」も併せてお読みください。
（➪ 51 ページ）

DISC1～5 ランプについて

●（消灯）	CD が入っていない（または検出していない）
○（オレンジ点灯）	CD が入っている
○（オレンジ点滅）	トレイ開閉中
○（グリーン点灯）	演奏中
○（グリーン点滅）	一時停止中

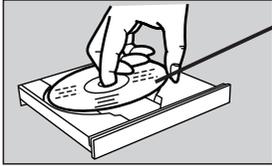
●ワンタッチで聞くには
リモコンのみ

電源「切」の状態で、［CD］を押す。
演奏位置にある CD の 1 曲目から、演奏が始まります。

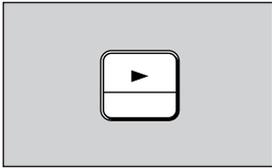
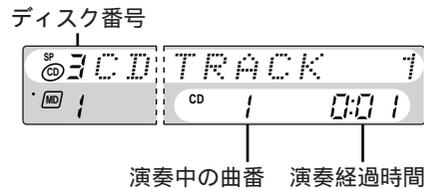
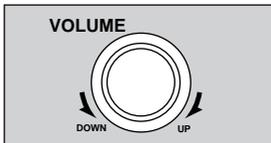
準備：電源を入れる。

1

押して
CDを入れるディスク番号を選び

押す
トレイが開きます。

2

ラベル面を上に
CDを入れる
［▲OPEN/CLOSE］を押して、
トレイを閉める。

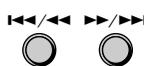
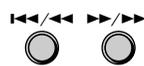
3

押す
1曲目から演奏が
始まります。
（［DISC1］～［DISC5］
でも演奏可能）

4

回して
音量を調節する

小（-- dB） 大（0 dB）

■途中で止めるには ⇨ **押す**

■一時停止するには ⇨ **押す**
（再開するには、[▮▮] または [▶] を押す）

■曲を前後にとび**越**（スキップ）**すには** ⇨   **ポンポンと押す**

■早送り／早戻し（サーチ）**するには** ⇨   **押し続ける**

■CD TEXT（テキスト）**※の表示を切り換えるには** ⇨

選ぶ
ARTIST側：アーティスト表示
TITLE側　：タイトル表示

■高音を調節するには ⇨

回す
（ヘッドホン使用時は効果がありません）

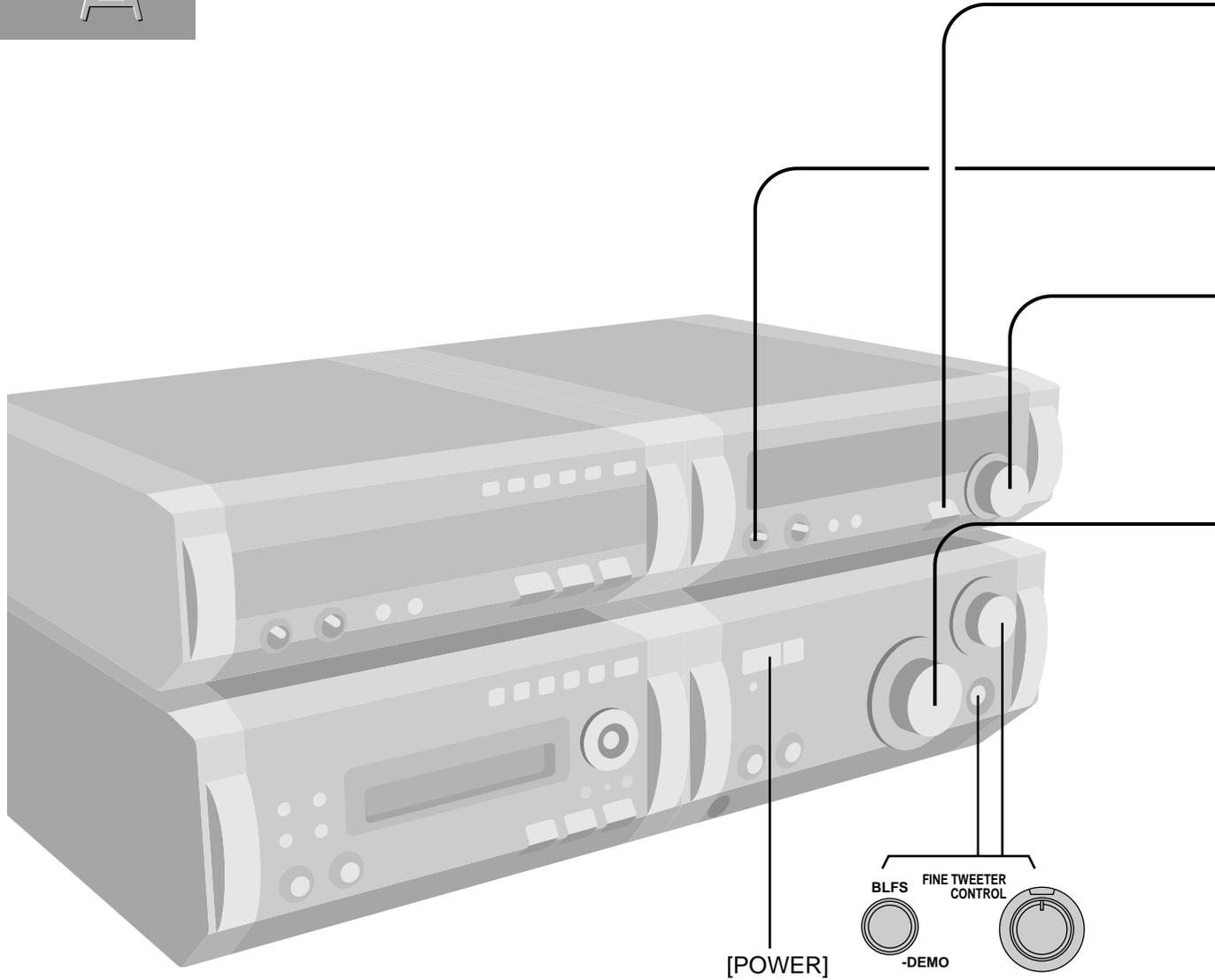
■重低音を調節するには ⇨

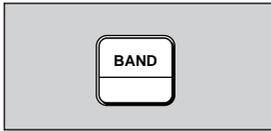
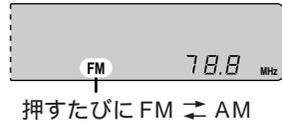
ポンポンと押す
押すたびに
BLFS HIGH（強）→ LOW（やや強）→ LIGHT（弱）→ FLAT（解除）→ BLFS HIGH（強）

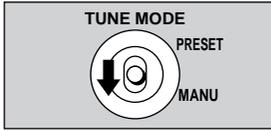
●ワンタッチでトレイを開くには
［▲OPEN/CLOSE］を押し続け、開きたいトレイの番号が表示されたら、指を離す。
トレイが開きます。

※ CD TEXTとは
音楽のほかに、アルバム名、曲名、アーティスト名などのテキスト情報が記録されているCDのことです。

お知らせ
- 演奏中に他のCDを入れたり、交換することはできません。必ず停止状態で行ってください。
- 「故障防止のために」も併せてお読みください。（➪51ページ）

[POWER]
BLFS
-DEMO
FINE TWEETER
CONTROL

準備：電源を入れる。

1

押して
“ＦＭ”または“ＡＭ”を選ぶ
（TV 音声 1-3ch 受信時は“FM”）

押すたびに FM ⇄ AM

2

MANU 側にする

3

回して
選局する

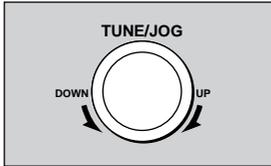
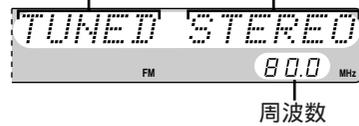
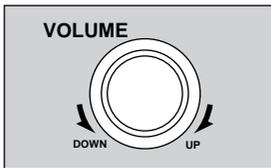
正確に受信すると点灯　FM ステレオ放送を受信すると点灯

TUNED STEREO
FM 80.0 MHz

周波数

4

回して
音量を調節する

VOLUME -48dB

小（-- dB）　大（0 dB）

■リモコンで選局するには

⇨ ①

押して、“FM”または“AM”を選ぶ

②

押して、選曲する

■自動選局（オートチューニング）するには リモコンのみ

⇨

押し続け、周波数が動き始めたら指を離す
（最初に受信した放送局で停止）

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは リモコンのみ

⇨ AUTO/MONO
押して“MONO”を選ぶ

MONO

押すたびに
MONO（強制モノラル）⇄ AUTO（自動判別）
通常は“AUTO”にしておきます。

■高音を調節するには

⇨

回す
（ヘッドホン使用時は効果がありません）

■重低音を調節するには

⇨

ポンポンと押す
押すたびに
BLFS HIGH（強）→ LOW（やや強）→ LIGHT（弱）
↑　　　FLAT（解除）　　←

●ワンタッチで聞くには リモコンのみ

電源「切」の状態で、［TUNER］を押す。
前回聞いていた放送局を受信します。

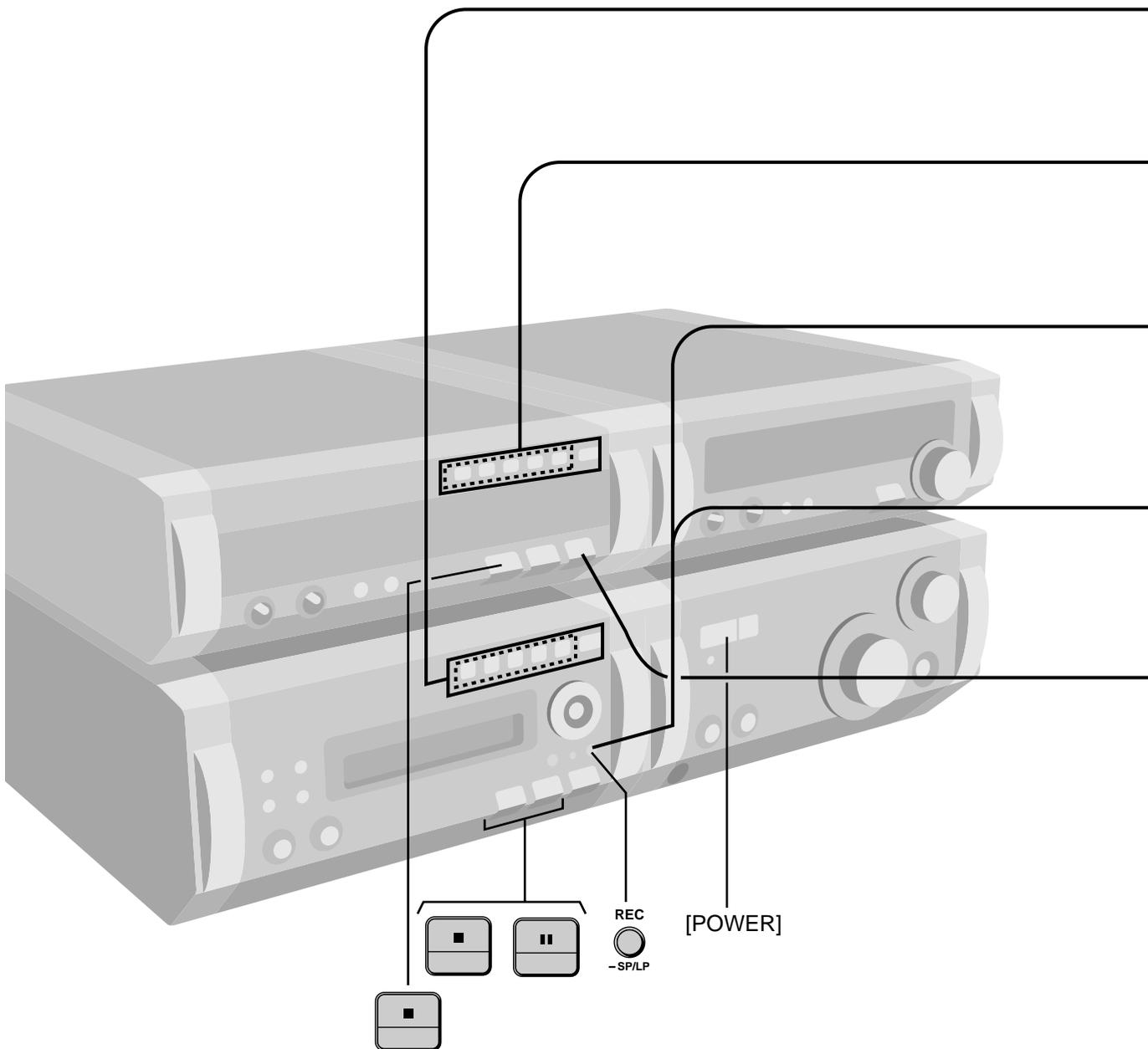
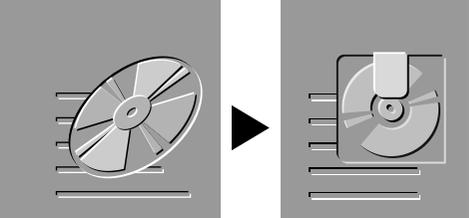
●TV 音声 1 〜 3ch の受信位置について

95.7MHz - TV1ch - 95.8MHz
101.7MHz - TV2ch - 101.8MHz
107.7MHz - TV3ch - 107.8MHz

●“TV”表示は、周波数を正確に受信したときだけ点灯します。

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。
（➪ 46 ページ）
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、TV2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

REC
SP/LP
[POWER]

■複数の CD、MD を入れているときの録音動作について■

●CD の演奏時間が、MD の録音可能な時間より長いとき

自動的に、次の MD に録音します。

（ディスクチェンジ中は録音が途切れます）

次の MD に録音したくないとき

あらかじめ、MD 側を 1 ディスクモードにしておきます。(➪ 20 ページ)

●MD の録音可能な時間が、CD の演奏時間より長いとき

自動的に、次の CD を録音します。

次の CD を録音したくないとき

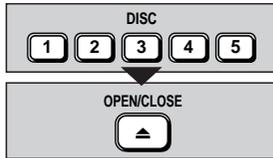
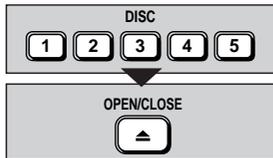
あらかじめ、CD 側を 1 ディスクモードにしておきます。(➪ 20 ページ)

はじめてMDを使用する場合は、「MDについて」（⇨ 50ページ）をお読みください。

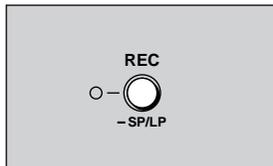
準備：電源を入れる。

1

押して
録音用MDを入れる

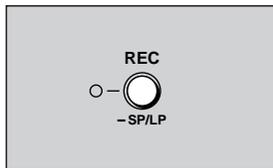
BLANK DISC

2

押して
CDを入れる
［⏏OPEN/CLOSE］を押して、
トレイを閉める。

CD ------
CD 12 52:20

3

表示が切り換わるまで押し続け
録音モードを選ぶ

SP STEREO

SP STEREO：標準録音モード
LP MONO　：長時間・モノラル録音モード
（74分のディスクで約148分録音可能）

4

ポンポンと押して
“Normal REC”を選ぶ

押すたびに
Normal REC → Auto Space → Turn Back

5

押す
自動的に、1曲目から録音します。

SP CD 3 MD 2 CD TRACK 1
CD 1 0:01

■途中で録音を止めるには

① **CD側の** **押す**

② **MD側の** **押す**

点滅後、録音が完了

■一時停止するには

MD側の **押す**

CDは演奏を続け、MDは録音待機状態になります。
トラックマークが付きます。
（再開するには、［❚❚］または［▶］を押す）

■録音中にトラックマークを付けるには

押す

■MDの残り時間を知るには
リモコンのみ

DISP/CHARA **押す**

停止中は1回。録音中は3回。
録音中に1回押すと、CDの曲の残り時間を表示。

●数枚のCDから曲を選んで録音するには
① 好みの曲をプログラム予約する。
（⇨ 22ページ　手順1〜5）
② 上記手順3〜5を行う。
選んだ曲だけ録音して、MDは録音待機状態になります。［■］を押して解除してください。

●録音先のMDを選び直すには
［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスク番号を表示させる。

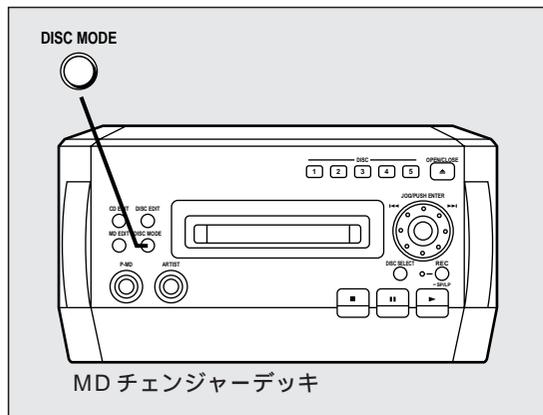
●カセットデッキRS-HD615をつないでいるときは
CDからMD／テープに同時録音できます。
上記手順4のあと、カセットデッキを録音待機状態にして、CD側の［▶］を押す。

1ディスク機能を使う（1ディスクモード）

演奏・録音の対象が、1枚のディスクに限定されるモードです。

お知らせ

このモードは、プログラムプレイには働きません。

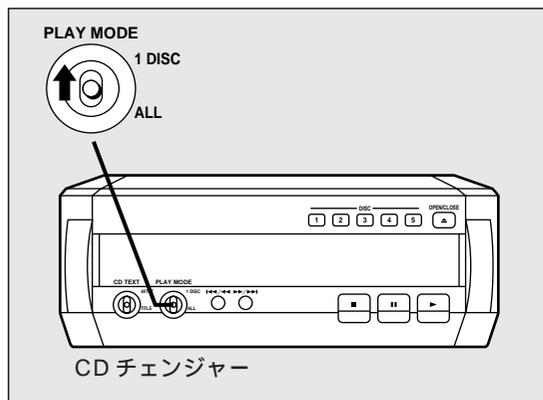
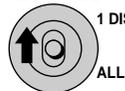
MDのとき

DISC MODE 押して

“1 DISC”を選ぶ

押すたびに1 DISC⇄ALL DISCS

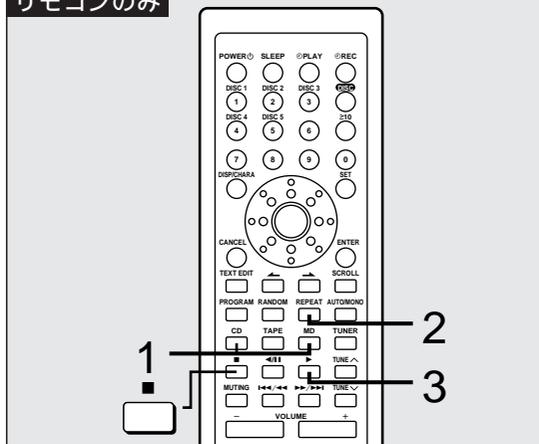
■解除するには

［DISC MODE］を押して、“ALL DISCS”を選ぶ。

CDのとき

1 DISC側にする

■解除するには

［PLAY MODE］を、ALL側にする。

演奏をくり返す（リピートプレイ）

リモコンのみ

1 MD CD 押して

MDまたはCDに切り換える

2 REPEAT 停止中または演奏中に、押して

“REPEAT ON”を選ぶ

押すたびに
REPEAT ON⇄REPEAT OFF

3 ▶

（停止中のみ）

押す

演奏が始まります。

■解除するには

［REPEAT］を押して“REPEAT OFF”を選ぶ、または［■］を押す。

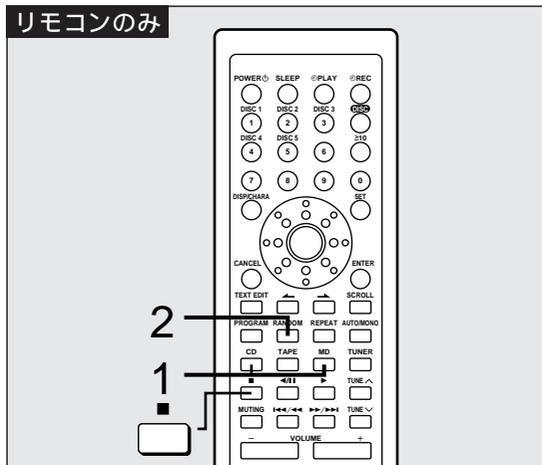
■1曲／数曲を選んでくり返すには

① 好みの曲をプログラム予約する。（➪22ページ手順1～5）
② ［REPEAT］を押して“REPEAT ON”を選ぶ。
③ ［▶］を押す。

お知らせ

リピートプレイは、約24時間連続演奏すると、自動的に解除されます。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

リモコンのみ

1 MD CD 押して
MD または CD に切り換える

2 RANDOM **押す**

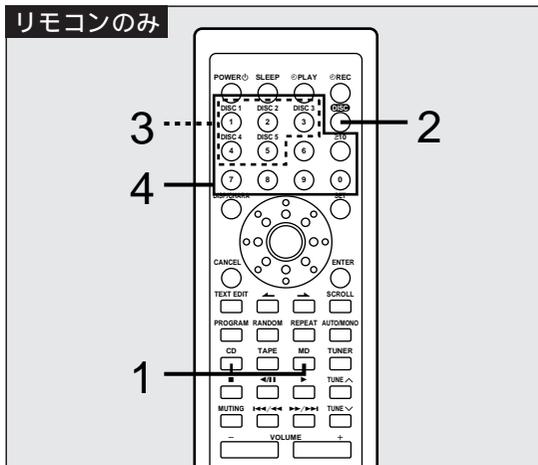
RANDOM PLAY

順不同に演奏します。

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ

1 MD CD 押して
MD または CD に切り換える

2 **押す**

3 DISC 1 DISC 2 DISC 3 DISC 4 DISC 5 約 10 秒以内に、押して
ディスクを選ぶ

CHANGE(3)

4 押して
曲番を選ぶ

MD TRACK 6

自動的に演奏が始まります。

■解除するには

［■］を押す。

CD のときは、[RANDOM]を押し “ RANDOM OFF ” を選んでも解除されます。

お知らせ

- ランダムプレイ中は、［⏮/◀◀］を押しても、一度演奏した曲に戻りません。
- ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

■数字ボタンで 100 以上を選ぶには（MD のみ）

［≧10］を 2 回押してから、数字ボタンを押す。

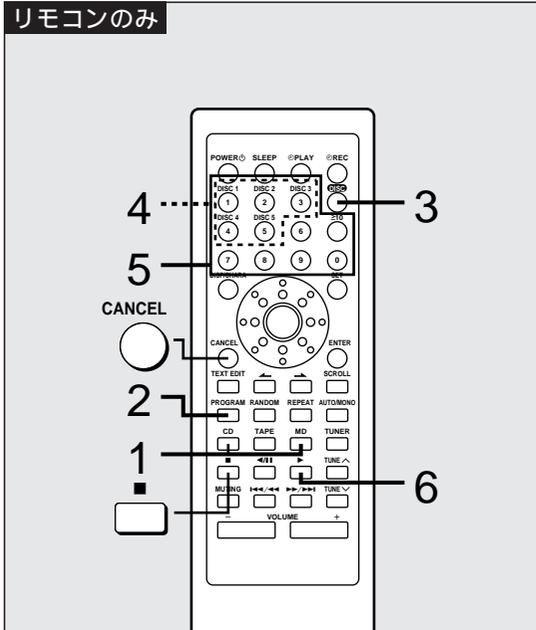
例）曲番 235 のとき：［≧10］→［≧10］→［2］→［3］→［5］

■数字ボタンで 10 以上を選ぶには

［≧10］を 1 回押してから、数字ボタンを押す。

例）曲番 23 のとき：［≧10］→［2］→［3］

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

リモコンのみ

最大 24 曲まで予約できます。

1 MD CD 押して
MD または CD に切り換える

2 PROGRAM 停止中に
押す

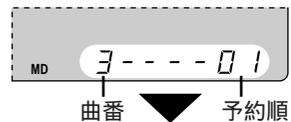
PROGRAM
PROGRAM MD 0 0:00

3 DISC **押す**

PROGRAM

4 DISC 1 DISC 2 DISC 3 DISC 4 DISC 5 約 10 秒以内に、押して
ディスクを選ぶ

PROGRAM
ディスク番号

5 押して
曲番を選ぶ
手順 3 〜 5 をくり返し、予約を完了する。

MD 3 8:39
合計演奏時間

6 ▶ **押す**

予約順に演奏が始まります。

■解除するには

●停止中に［PROGRAM］を押して、“PROGRAM”を消す。（“CLEAR”と表示）
CD のときは、演奏中でも解除できます。

■数字ボタンで 100 以上を選ぶには（MD のみ）
［≧10］を 2 回押してから、数字ボタンを押す。
例）曲番 235 のとき：［≧10］→［≧10］→［2］→［3］→［5］

■数字ボタンで 10 以上を選ぶには
［≧10］を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
例）曲番 23 のとき：［≧10］→［2］→［3］

■予約を確認するには（停止中）
［⏮/◀◀］または［▶▶/⏭］を押す。
押すたびに、ディスクと曲番、予約順が表示されます。

■予約を追加するには（停止中）
上記手順 3 〜 5 を行う。

■予約を取り消すには（停止中）
●最後の曲から順に
［CANCEL］を押す。
“CANCEL”と表示され、最後の曲が取り消されます。
●指定の曲だけ
［⏮/◀◀］または［▶▶/⏭］で取り消す曲を表示させ、約 10 秒以内に［CANCEL］を押す。
●全曲
［■］を押す。（“CLEAR”と表示）
プログラムモードも解除されます。

■“FULL”と表示したら
25 曲目を予約しようとしました。予約できません。

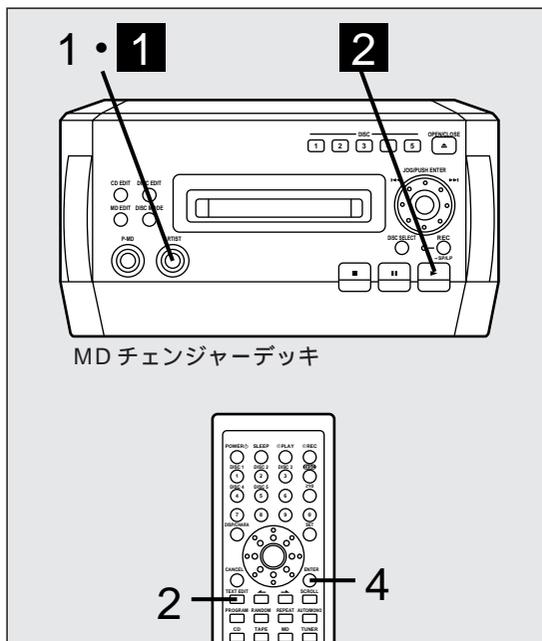
■“−−：−−”と表示したら
次のどちらかを表しています。ただし、予約や演奏はできます。
●ディスクの TOC 情報が読み込まれていない
●予約曲の合計演奏時間が 199 分 59 秒を超えた

お知らせ
●複数のディスクからプログラム予約しているときは、1 ディスクモード（➪ 20 ページ）であっても、予約した、すべての曲を演奏します。
●プログラムプレイ中にスキップすると、予約した曲の順序で前後にとび越します。
●CD のプログラムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

同じアーティストの曲だけ聞く（5MD アーティストプレイ）

1・**1**　**2**

MD チェンジャーデッキ

2　4

●最大 5 枚の MD から、同じアーティストの曲だけを自動的にピックアップして演奏します。
●アーティスト名の代わりに、曲のジャンル名などを付けて応用することもできます。

本機にアーティスト名を記憶させる（最大 12 人分・一人につき最大 12 文字まで）

準備：アンプの[INPUT SELECTOR]で“MD”を選ぶ。

1

停止中に、押して
“ARTIST1”を選ぶ

押すたびに
ARTIST1 → 2 → 3......12 → 元の表示

2　リモコン TEXT EDIT

約 10 秒以内に
押す

3　アーティスト名を入力する(➪ 34 ページ)

Louis parst

●文字入力を解除するには[TEXT EDIT]を押す。

4　リモコン ENTER　**押す**

ARTIST 1
↕
Jelly Louis

●続けて他のアーティスト名を入力するには
上記手順 1 で“ARTIST2”を選び、手順 2 〜 4 を行う。

アーティスト名を指定して聞く

準備：① 曲にアーティスト名を付けた MD を入れる。(➪ 35 ページ)
② アンプの［INPUT SELECTOR］で“MD”を選ぶ。
③［DISC MODE］を押して、“ALL DISCS”を選ぶ。

1　ARTIST

停止中に、押して
アーティスト名を選ぶ

ARTIST 1
↕
Jelly Louis

2　**MD 側**

約 10 秒以内に
押す

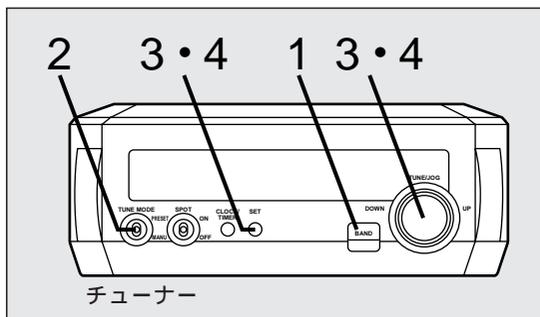
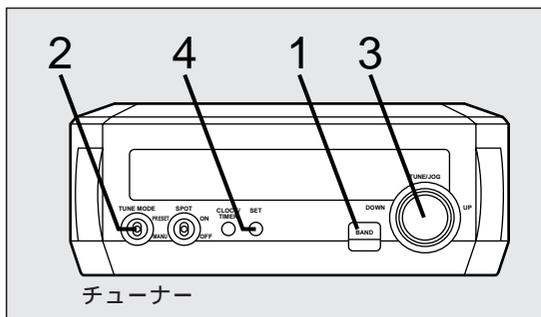
MD 5 0:01

同じアーティストの曲だけ演奏して自動停止します。

お知らせ

●5MD アーティストプレイは、録音用 MD でのみ可能です。市販の演奏専用 MD は使えません。
●アーティスト名が 12 人分に達したあと、新たな名前を追加するときは、不要な名前を選び、文字を入れ直してください。
●本機に記憶させたアーティスト名が、ディスク側の名前より短くても、先頭からの文字が一致すれば、ピックアップして演奏します。
例：本機側のアーティスト名「Panasonic」
ディスク側の名前「Panasonic MD」　○
「MD Panasonic」　×

記憶させる

- 放送局を本機のチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
- FM、AM とも、12 局ずつ記憶させられます。それぞれ別々に記憶させます。

自動的に記憶させる（オートメモリー）

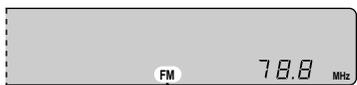
1

押して
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ
（TV 音声記憶時も “ FM ”）

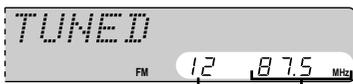
押すたびに FM⇄AM

2

MANU 側にする

3 TUNE/JOG DOWN UP

回して
76.0 MHz（FM）または
522kHz（AM）に合わせる

4

“ AUTO MEMORY ”と表示するまで
押し続ける

チャンネル　周波数

- 記憶動作後、“ SET OK ” と表示して、最後に記憶した放送局を受信します。
- “ ERROR ” と表示したときは、電波が弱いなどの理由で、一局も記憶していません。手動で記憶させてください。（右記参照）

手動で記憶させる（マニュアルメモリー）

1

押して
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ
（TV 音声記憶時も “ FM ”）

押すたびに FM⇄AM

2 TUNE MODE PRESET MANU

MANU 側にする

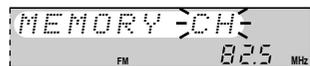
3 TUNE/JOG DOWN UP

① 回して
選局し

SET

② **ポンと押す**

MEMORY CH
FM 82.5 MHz

4 TUNE/JOG DOWN UP

①回して
チャンネルを選び

② **ポンと押す**

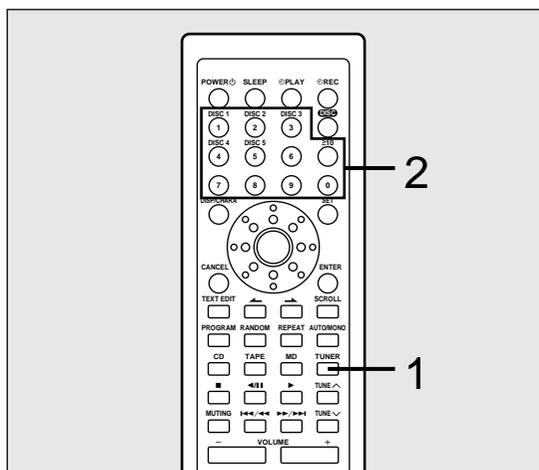
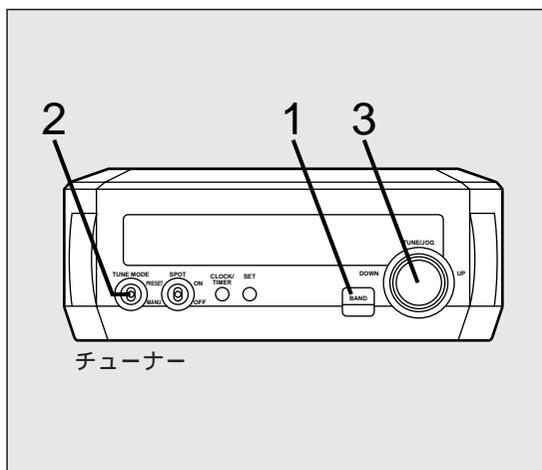
MEMORY CH5
FM 5 82.5 MHz

- 受信中の放送局が、選んだチャンネルに記憶されました。
- 手順 1 ～ 4 をくり返し、記憶を完了させます。

お知らせ

FM ステレオ放送を強制モノラルで記憶させることができます。
受信後、リモコンの［AUTO/MONO］で “ MONO ” を表示させ、手動で記憶させてください。

聞く（プリセット選局）

記憶されたチャンネルを選んで聞きます。

本体で

1

押して
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ
（TV 音声受信時は “ FM ”）

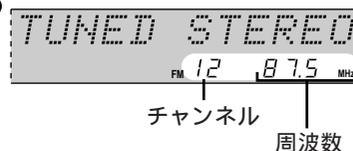
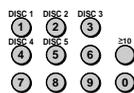
2

PRESET 側にする

3 TUNE/JOG
回して
チャンネルを選ぶ

リモコンで

1 TUNER
押して
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ
（TV 音声受信時は “ FM ”）

2 DISC 1 DISC 2 DISC 3 DISC 4 DISC 5 ≧10
押して
チャンネルを選ぶ

■数字ボタンで 10 以上を選ぶには

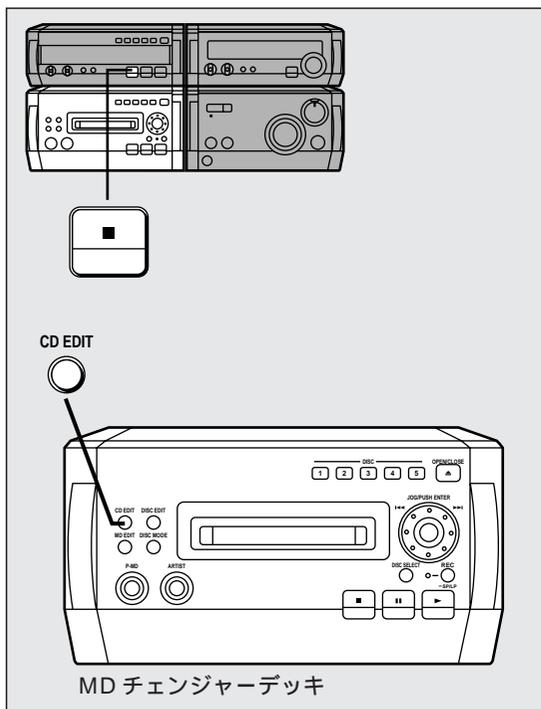
［≧10］を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
例）チャンネル 12 のとき：［≧10］→［1］→［2］

MD 終端で曲が途切れないように CD を録音する（AI エディット）

MD チェンジャーデッキ

最大 24 曲をワンタッチで録音できます。

準備： ① 録音用 MD を入れる。
② CD を入れる。
③ 表示が切り換わるまで［REC、-SP/LP］を押し続け、録音モード **SP**（標準）または **LP**（長時間モノラル）を選ぶ。

押す

例：すでに 11 曲入っている MD に録音したとき

自動的に録音が始まります。

■途中で録音を止めるには

CD 側の［■］を押す。
“ UTOC Writing ” の点滅後、録音が完了します。

■好みの曲を予約順に録音するには（プログラム AI エディット）

CD 側で、**1 枚の CD** から、好みの曲をプログラム予約したあと（➪ 22 ページ手順 1 ～ 5）、［CD EDIT］を押す。

■録音先の MD を選び直すには

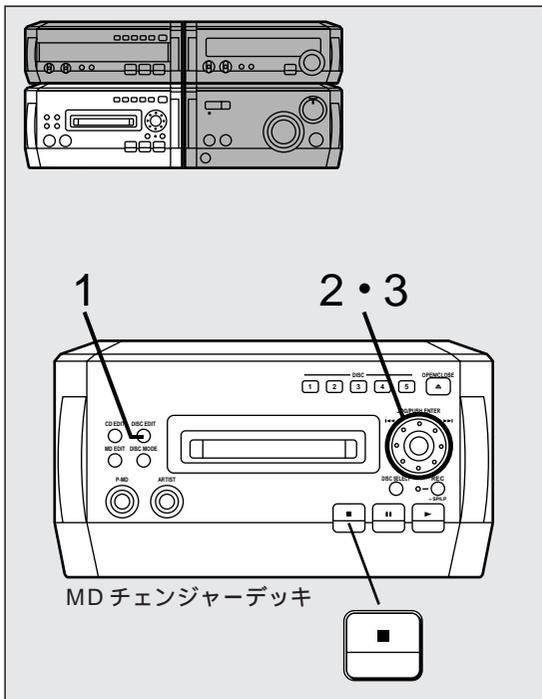
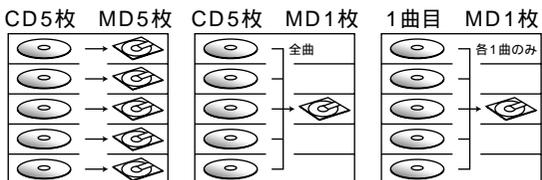
［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスク番号を表示させる。

■ CD TEXT 付 CD 使用時は

録音完了後、“ TRACK TITLE EDIT ”と表示して、自動的にタイトル記録モードに移ります。（➪ 37 ページ「CD TEXT のタイトルを MD に付ける」手順 2 の状態）
タイトルを付けないときは、CD 側の［■］を押します。

お知らせ

- 本機で自動的に計算される MD の残り時間が、実際とは異なる場合があります。このため、まれに MD 終端で曲の途切れることがあります。
- CD の演奏時間が、MD より長くても、次の MD には録音されません。MD1 枚に録音可能な曲数だけ録音されます。また、MD に残り時間があっても、次の CD が自動的に録音されることはありません。

最大 5 枚の CD から編集録音する（マルチディスクエディット）

3 種類の編集モードがあります。

準備： ① CD を録音順に、DISC1 → 5 へ入れる。
② 録音用 MD を入れる。
（5CD → 5MD モードのときは、CD と同じ番号のスロットに入れる）
③ 表示が切り換わるまで［REC、-SP/LP］を押し続け、録音モード **SP**（標準）または **LP**（長時間モノラル）を選ぶ。

1 DISC EDIT
停止中に、押して
編集モードを選ぶ

押すたびに
- 5CD →→→→ 5MD
（CD5 枚を MD5 枚に）
- 5CD →→→→ 1MD
（シングル CD をまとめて1 枚に）
- TR1 ALL → 1MD
（1 曲目だけをまとめて1 枚に）
- 元の表示

2 JOG/PUSH ENTER
押す

録音する CD と MD のディスク番号

CD/MD 12345

“ 5CD →→→→ 1MD ” または“ TR1 ALL → 1MD ” 選択時は、次の表示になります。

録音する CD のディスク番号

録音先の MD のディスク番号

3 JOG/PUSH ENTER
押す

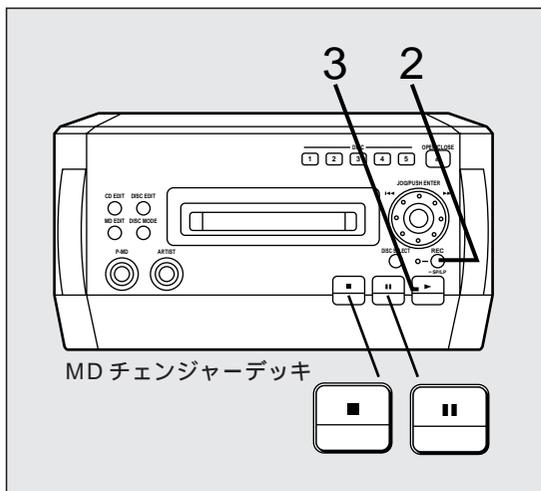
CHANGE (1)
CD

自動的に録音が始まります。

■途中で録音を止めるには
MD 側の［■］を押す。
“ UTOC Writing ” の点滅後、編集録音が完了します。

■録音先の MD を選び直すには
［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスク番号を表示させる。

お知らせ
- CD の演奏時間が、MD より長くても、次の MD には録音されません。MD1 枚に録音可能な曲数だけ録音されます。
- 5CD → 5MD モードのときは、5 組同時に録音が始まるのではなく、DISC1 → 2 → 3 …と順に録音されていきます。

ラジオを録音する（アナログ入力・ノーマル録音）

準備： ① 録音用 MD を入れる。
② 表示が切り換わるまで［REC、-SP/LP］を押し続け、録音モード **SP**（標準）または **LP**（長時間モノラル）を選ぶ。

1 **ラジオ放送を受信する**
(➪16 または 25 ページ)

2 REC ‒SP/LP

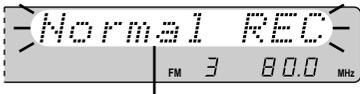
ポンポンと押して
“ Normal REC ” を選ぶ

Normal REC
FM 3 80.0 MHz

押すたびに
Normal REC ⟶ Auto Space ⟶ Turn Back

3 **MD 側** **押す**

TUNED STEREO
FM 3 80.0 MHz

録音が始まります。

■途中で録音を止めるには
MD 側の［■］を押す。
“ UTOC Writing ” の点滅後、録音が完了します。

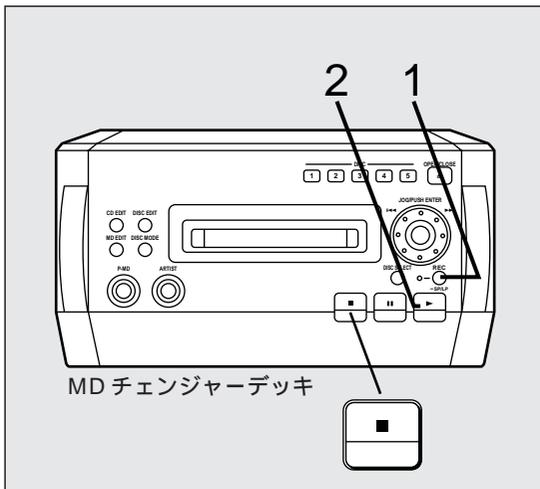
■一時停止するには
MD 側の［❚❚］を押す。
トラックマークが付きます。
再開するには、［❚❚］または［▶］を押す。

■録音中にトラックマークを付けるには
区切りたい位置で、［REC］を押す。
まちがえても、録音終了後に修正できます。
(➪ 30 ・ 31 ページ)

■ MD の残り時間を知るには
リモコンの［DISP/CHARA］を押す。（停止中は 1 回。録音中は 2 回）

■録音先の MD を選び直すには
［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスク番号を表示させる。

お知らせ
複数の録音用 MD を入れているときは、自動的に次の MD へと順に録音されていくため、長時間放送を録音するときに便利です。（MD の 1 ディスク・モード時を除く）
ただし、ディスクチェンジ中は録音が途切れます。

頭切れしないように録音する(ターンバック)

ラジオ放送などを録音するとき、頭切れを防げます。

準備： ① 録音用 MD を入れる。
② 放送を受信する。

1

ポンポンと押して
" Turn Back "を選ぶ

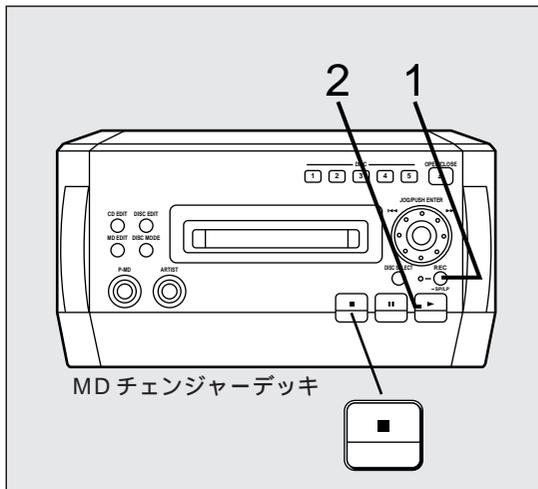
押すたびに
Normal REC → Auto Space → Turn Back

2 **MD 側** **押す**

録音が始まります。

■途中で録音を止めるには
MD 側の［■］を押す。
" UTOC Writing " の点滅後、録音が完了します。

お知らせ
ターンバック機能は、数秒間の音声データを本機内部に蓄えることで、数秒前の音から録音することを可能にしています。

曲間をそろえて録音する（オートスペース）

3 秒以上の無音状態が続いたあと、再び音が入力された場合に、曲間の空きを 3 秒にそろえる機能です。
別売り機器（TAPE ・ EXT など）から録音する場合に効果的です。

準備： ① 録音用 MD を入れる。
② アンプの［INPUT SELECTOR］で録音するソース（音源）を選ぶ。

1 REC / SP/LP

ポンポンと押して
" Auto Space "を選ぶ

押すたびに
Normal REC → Auto Space → Turn Back

2 **MD 側** **押す**

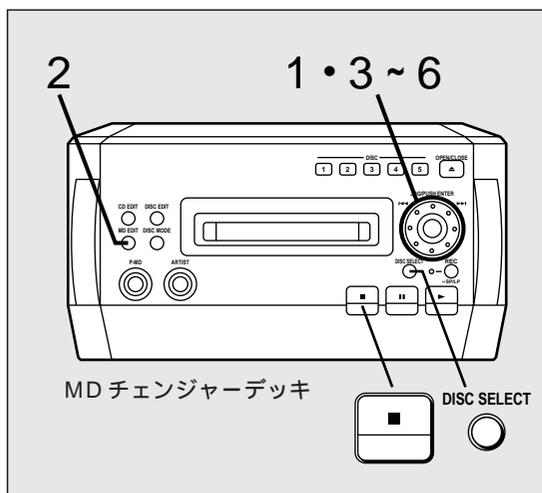
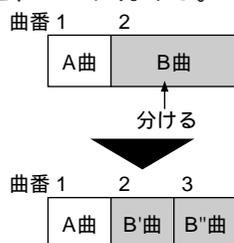
録音待機状態になります。

3 **ソースの演奏を始める**
音の出始めにシンクロして録音が始まります。

■途中で録音を止めるには
ソースの演奏を止め、MD 側の［■］を押す。
" UTOC Writing " の点滅後、録音が完了します。

お知らせ
オートスペース機能は、音が一定のレベルに達した位置から自動的に録音を始めます。このため、レベルの低い曲では、うまく働かない場合があります。このときは " Normal REC " を選んで録音してください。

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD がつくれます。（録音用 MD のみ）

1 曲を 2 つに分ける（ディバイド）

例：曲番 2 を、2 つに分ける。

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② ［DISC SELECT］をポンポンと押して、編集するディスクを選ぶ。

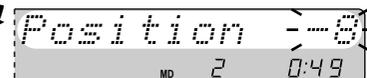
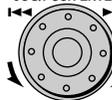
1 JOG/PUSH ENTER 演奏中に（または一時停止中）、回して
2 つに分ける曲番を選ぶ

2 MD EDIT 押して
“ DIVIDE? ”を選ぶ

押すたびに
DIVIDE?→MOVE?→COMBINE?
↑ ↓
元の表示 ←TRACK ERASE?

3 おおよその位置で
押す

（押した位置からの 4 秒間をくり返す。モノラルでは 8 秒間）

4 正確な位置を決める
回して
位置を調節する

（前後約 8 秒間を－ 128 ～＋ 127 に区切って表示。モノラルでは 16 秒間）

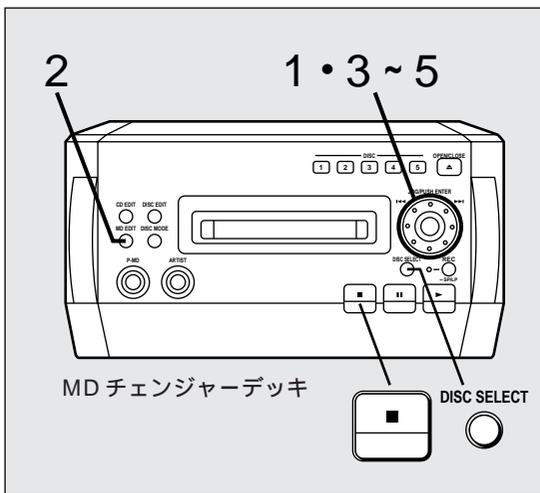
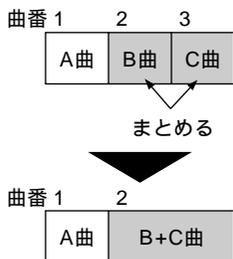
5 JOG/PUSH ENTER **押す**

6 JOG/PUSH ENTER **押す**

（点滅後、編集が完了）

■途中で編集を解除するには
手順 6 を行うまでに、［■］を押す。

■編集前の状態に戻すには
コンバイン機能を使ってください。（➪ 31 ページ）

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン）

例：曲番 2 と 3 を、1 つにまとめる。

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② ［DISC SELECT］をポンポンと押して、編集するディスクを選ぶ。

1 JOG/PUSH ENTER

演奏中に（または停止中・一時停止中）、回して
まとめる 2 曲の後ろの曲番を選ぶ

2 MD EDIT

押して
“ COMBINE? ”を選ぶ

押すたびに
DIVIDE?→MOVE?→COMBINE?
↑ ↓
元の表示 ←TRACK ERASE?

3 JOG/PUSH ENTER

押す

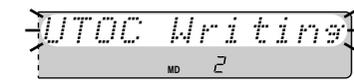
4 JOG/PUSH ENTER

押す

2+3 OK?
MD 2 0:01

（曲番の 2 の末尾 8 秒と、曲番 3 の曲頭 8 秒をくり返す。モノラルでは各 16 秒間）

5 JOG/PUSH ENTER

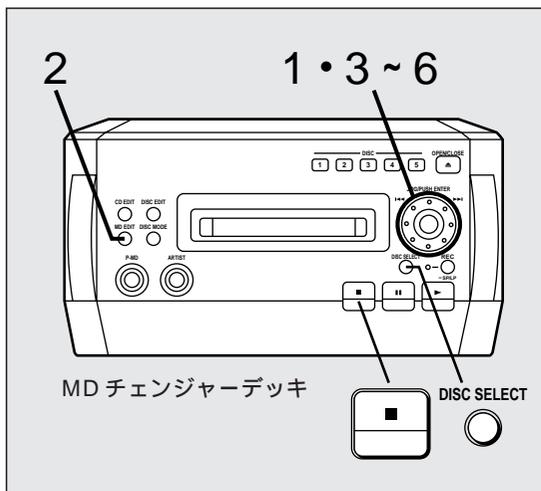
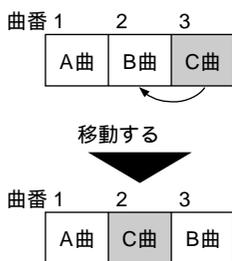
押す

（点滅後、編集が完了）

■途中で編集を解除するには
手順 5 を行うまでに、［■］を押す。

■編集前の状態に戻すには
ディバイド機能を使ってください。（⇨ 30 ページ）

お知らせ

- 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲についていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- 録音モードを SP にして録音した曲と、LP にして録音した曲は、1 つにまとめられません。
“ CANNOT COMBINE ”と表示されます。

曲を移動する（ムーブ）

例： 曲番 3 を、2 曲目に移動する。

準備： ① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② ［DISC SELECT］をポンポンと押して、編集するディスクを選ぶ。

1 JOG/PUSH ENTER
演奏中に（または停止中・一時停止中）、回して
移動する曲番を選ぶ

TRACK 3
MD 3 0:06

2 MD EDIT
押して
“ MOVE? ”を選ぶ

3 JOG/PUSH ENTER
押す

TRACK 3→1
MD 3 0:19

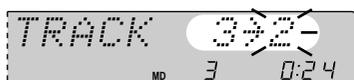
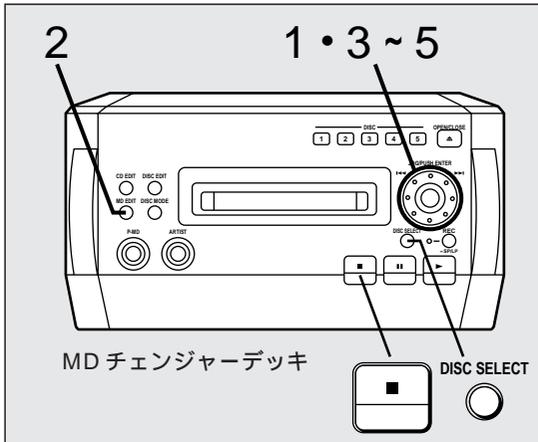
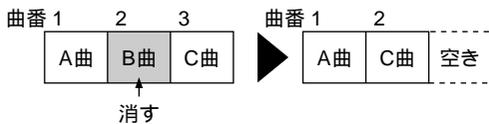
4 JOG/PUSH ENTER
回して
移動先を選ぶ

5 JOG/PUSH ENTER
押す

6 JOG/PUSH ENTER
押す

UTOC Writing
MD 2

（点滅後、編集が完了）

■途中で編集を解除するには
手順 6 を行うまでに、［■］を押す。

1 曲ずつ消す(トラックイレース)

例：曲番 2 を消す。

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② ［DISC SELECT］をポンポンと押して、編集するディスクを選ぶ。

1 JOG/PUSH ENTER
演奏中に（または停止中・一時停止中）、回して
消したい曲番を選ぶ

2 MD EDIT
押して
“ TRACK ERASE? ”を選ぶ

押すたびに
DIVIDE?→MOVE?→COMBINE?
↑ ↓
元の表示 ←TRACK ERASE?

3 押す

ERASE -2-
MD 2 0:20

4 押す

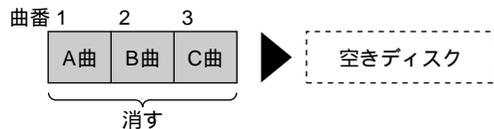
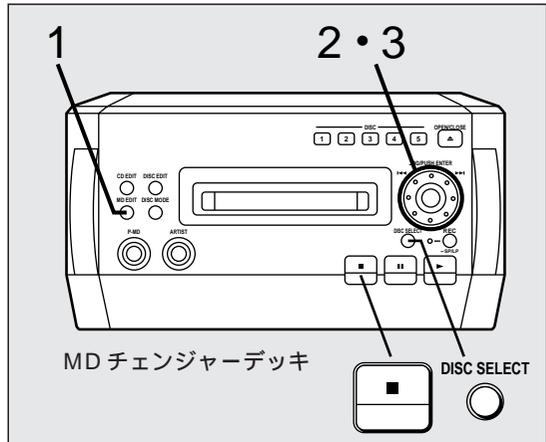
ERASE OK?
MD 2 0:24

5 押す

UTOC Writing
MD 2

（点滅後、編集が完了）

■途中で編集を解除するには
手順 5 を行うまでに、［■］を押す。

全曲を消す（オールイレース）

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② ［DISC SELECT］をポンポンと押して、編集するディスクを選ぶ。

1 MD EDIT
停止中に、押して
“ ALL ERASE? ”を選ぶ

押すたびに
ALL ERASE?→TITLE COPY?
↑ 元の表示 ←

2 JOG/PUSH ENTER
押す

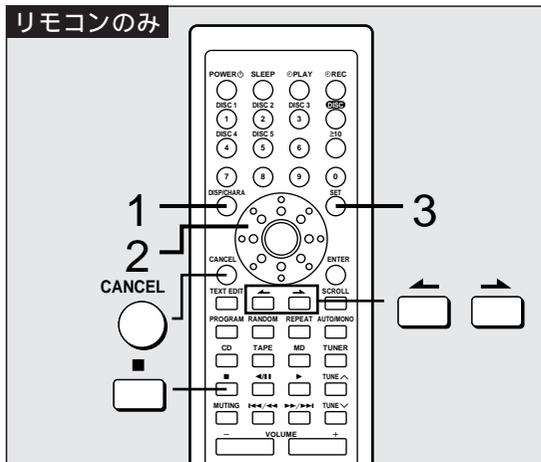
ERASE OK?
MD 6 19:22

3 **押す**

（編集が完了）

■途中で編集を解除するには
手順 3 を行うまでに、［■］を押す。

文字入力のしかた

リモコンのみ

実際にタイトル入力するときは、35～38ページも併せてお読みください。

準備：文字入力画面にする。(➪ 35・36ページ)

1

押して

文字の種類を選ぶ

押すたびに

英大文字→英小文字→数字
↑――カタカナ←――

●本機にアーティスト名を記憶させた場合（➪ 23ページ）は、ARTISTモードが追加されます。

2

ジョグコントロールを回して

文字を選ぶ

◀–　　　←ABCDE

●一文字空けるときは、[⇀]を押すか、「空白」を選びます。（右表参照）

3

押す

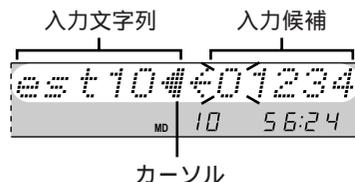
文字が入力されます。

●[■] を押すと、MDに記録されずに、元の表示に戻ります。

■入力できる文字の一覧表

文字の種類	入力できる文字									
英大文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
	U	V	W	X	Y	Z				
	空白	!	”	#	$	%	&	’	(	)
	＊	＋	，	－	．	／	：	；	＜	＝
	＞	?	@	＿	｀					
英小文字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
	u	v	w	x	y	z				
	空白	!	”	#	$	%	&	’	(	)
	＊	＋	，	－	．	／	：	；	＜	＝
	＞	?	@	＿	｀					
数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カタカナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン				
	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
	空白	ー	°	゛						
ARTIST モード（ARTIST1～12）										

■入力文字列のカーソルを動かすには

[↼] または [⇀] を押す。

■文字を削除するには

① [↼] または [⇀] を押して、不要な文字にカーソルを合わせる。

② [CANCEL] を押す。
文字が削除されて、後ろの文字が前に詰まります。

■文字を挿入するには

① [↼] または [⇀] を押して、挿入位置の右側の文字にカーソルを合わせる。

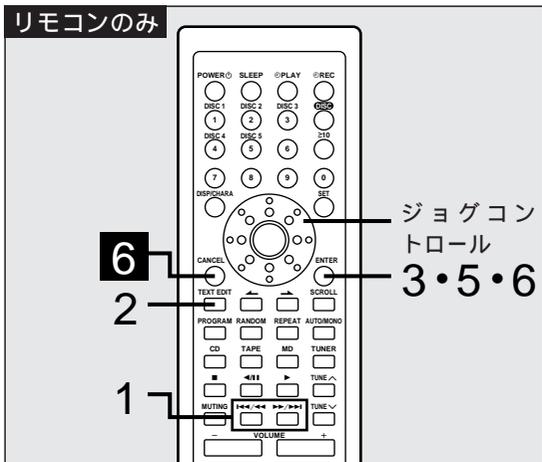
② 文字を入力する。

お知らせ

●入力途中で長時間放置しておくと、ジョグコントロールを回しても入力できない場合があります。この場合は、他のボタン（たとえば [VOLUME]）を一度押してから操作してください。

●濁点や半濁点は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記のときは [SET] を押しても入力されません。

ＭＤにタイトルを付ける

リモコンのみ

曲にタイトルを付ける

- 1 曲に最大 100 文字まで付けられます。
- アーティスト名を付けると、5MD アーティストプレイができます。（➪ 23 ページ）

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② MD チェンジャーデッキの［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスクを選ぶ。

1 ⏮/◀◀ ▶▶/⏭ ポンポンと押して
タイトルを付ける曲を選ぶ

TRACK 3

2 TEXT EDIT **押す**

3 ENTER **押す**

（文字入力画面）

4 **文字を入力する**（➪ 34 ページ）

5 ENTER **押す**

ARTIST?

- アーティスト名を入力するとき→ **6** に進む。
- アーティスト名を入力しないとき→ **6** に進む。

アーティスト名を入力するとき

6 ① ENTER **押す**

② **文字を入力する**
必ず“ // ”のあとに入力して、「//アーティスト名」になるようにします。

③ ENTER **押す**

（点滅後、入力が完了）

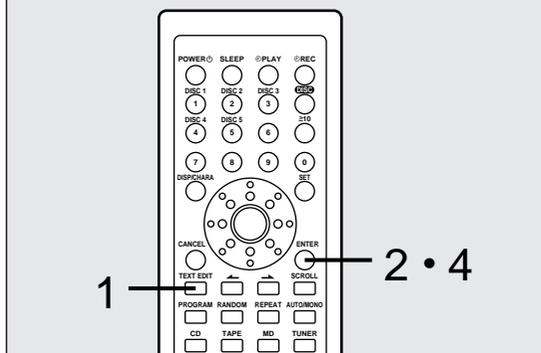
アーティスト名を入力しないとき

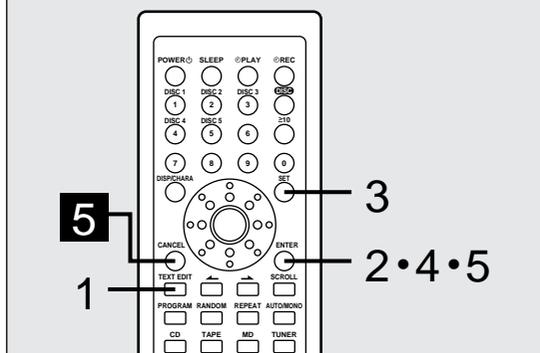
6 CANCEL **押す**

（点滅後、入力が完了）

■途中で解除するには
手順 6 を行うまでに、［TEXT EDIT］を押す。

■入力完了後に、文字を直すには
① 文字入力画面（上記手順 3）まで進んだあと、［◀］または［▶］を押して、直す文字にカーソルを合わせる。
②［CANCEL］を押す。
③ 正しい文字を入力する。
④ 上記手順 5 以降を行う。

■本機に記憶させたアーティスト名を、MD にコピーするには
① 上記手順 6-①のあと、［DISP/CHARA］を押して ARTIST モードにする。
② ジョグコントロールを回して、コピーするアーティスト名を選ぶ。
③［SET］を押す。
④［ENTER］を押す。

リモコンのみ

リモコンのみ

ディスクにタイトルを付ける

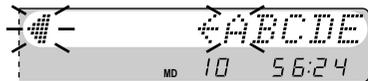
1 枚に最大 100 文字まで付けられます。

準備：① アンプの［INPUT SELECTOR］で“ MD ”を選ぶ。
② MD チェンジャーデッキの［DISC SELECT］をポンポンと押して、ディスクを選ぶ。

1 TEXT EDIT 停止中に **押す**

押すたびに
DISC TITLE?⇄ 消灯

2 ENTER **押す**

ABCDE
MD 10 56:24

（文字入力画面）

3 文字を入力する（⇨ 34 ページ）

4 ENTER **押す**

（点滅後、入力が完了）

CD TEXT のタイトルを MD に付ける

- 録音している曲のテキスト情報（タイトル、アーティスト名）を、MD のトラックタイトルとして記録できます。（一度に最大 100 文字まで）
- ローマ字→カタカナ変換機能で、カタカナも容易に入力できます。

お知らせ

入力操作は、その曲の録音中のみ有効です。操作が次曲にずれ込むと、トラックタイトルが正しい曲に付きません。

1 TEXT EDIT 録音中に（⇨18・19 ページ） **押す**

押すたびに
TRACK TITLE?⇄ 消灯

■カーソルが“ ◀ ”になったときは

① 変換できる文字まで［⇀］でカーソルを送り、最後まで変換する。
② ［↼］で、変換できなかった文字までカーソルを戻す。
③［CANCEL］を押し、正しい文字を入力する。
④ ②〜③をくり返し、訂正を終えたら［ENTER］を押す。

■本機の英文字→カタカナ変換機能について

- 大文字／小文字に関係なく変換します。
- 小さな「ッ」は、子音が 2 つ続いたとき変換します。
- 3 文字も、原音に近い形で変換します。

お知らせ

文字コードを変換するため、一部の文字はオリジナル通りに表示できません。

■途中で解除するには

手順 4 を行うまでに、［TEXT EDIT］を押す。

2
ENTER
押す
先頭の英文字が自動的にカタカナに変換されます。
● **カーソルの形状について**
“ ■ ”のとき ：カタカナ変換可能
“ ◀ ”のとき ：カタカナ変換不可（下段参照）
● **変換したくないとき**
［→］を押したあと、手順 4 に進む。

3
SET
押す
カーソルが右に移動し、次の英文字がカタカナに変換されます。ポンポンと押して、すべての英文字を変換します。

4
ENTER
押す
● アーティスト名を手動で入力するとき→ 5 に進む。
● アーティスト名を入力しないとき→ **5** に進む。

アーティスト名を手動で入力するとき

5 ①
ENTER
押す

② **文字を入力する（☞ 34 ページ）**

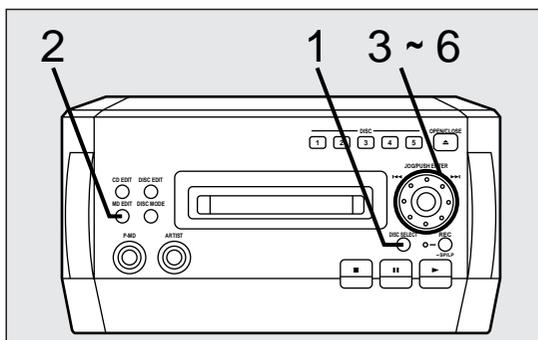
③
ENTER
押す
● 本機に記憶させたアーティスト名を MD にコピーすることもできます。（☞ 35 ページ）

アーティスト名を入力しないとき

5
CANCEL
押す

■ AI エディット中にタイトルを付けるには

操作のタイミングに関係なく、常に 1 曲目からタイトルが入ります。
①［TEXT EDIT］を押す。
“ TRACK TITLE EDIT ” と表示して、先頭の英文字が自動的にカタカナに変換されます。
② 上記手順 3 ～ 5（**5**）の操作で、タイトルを入力する。
③ 引き続き 2 曲目の入力モードになるので、同じ操作をくり返す。
● **AI エディット後にタイトルを付けることもできます**
AI エディットが終わると、自動的に “ TRACK TITLE EDIT ”と表示して①と同じ状態になります。以下、同じ操作でタイトルを付けます。

タイトルを他の MD にコピーする（タイトルコピー）

録音用 MD のタイトルを、他の MD にコピーできます。

お知らせ
● 使用する 2 枚の MD の曲数が同じときのみ有効です。曲数が異なるときはコピーできません。（“ TRACK NOT EQUAL ” と表示）
● 市販の演奏専用 MD や、録音されていない MD はコピーできません。
● すでにタイトルの入っている MD にコピーすると、元から入っていたタイトルはすべて消えます。

準備： ① アンプの［INPUT SELECTOR］で “ MD ” を選ぶ。
② コピー元の MD と、コピー先の MD を任意のスロットに入れる。

1
DISC SELECT
押して
コピー元の MD を選ぶ

2
MD EDIT
停止中に、押して
“ TITLE COPY? ” を選ぶ
押すたびに
ALL ERASE? → TITLE COPY?
↑――元の表示 ←――

3

押す
TITLE →→ MD

4

回して
コピー先の MD を選ぶ

5

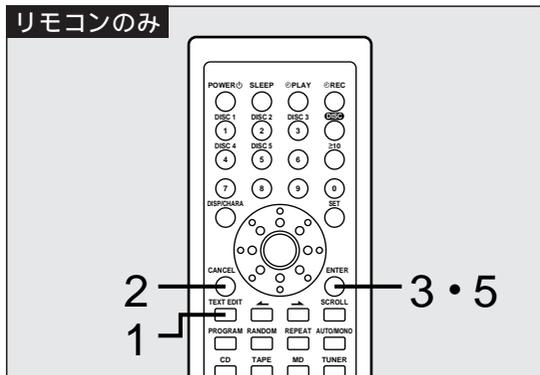
押す
TITLE →→ MD3

6

押す
“ UTOC Writing ” 点滅後、コピーが完了します。

放送局に名前を付ける

リモコンのみ

リモコンのみ

あらかじめ記憶されている名前を付ける

- 本機は、各周波数の放送局名を記憶しています。（右の表を参照）
  周波数によっては複数の局名を記憶しているので、該当する局名を選んでください。
- 放送局名を付けると、受信中に、選んだ局名が表示されます。（プリセット選局時のみ）

準備：オート（またはマニュアル）メモリーしたあと、名前を付ける放送局をプリセット選局する。（➪ 24 ・ 25 ページ）

1 TEXT EDIT　受信中に
押す

2 CANCEL　該当する局名が表示されるまで
ポンポンと押す

押すたびに
記憶している局名 ⇄ 手動入力モード
1 つの周波数に複数の局名があるときは、押すたびにそれらを順に表示したあと、手動入力モードになります。

3 ENTER　**押す**

NHK-FM
FM 6 86.5 MHz

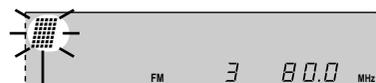
（入力完了）

手動で好みの名前を付ける

1 つの放送局に、最大 12 文字まで付けられます。

準備：オート（またはマニュアル）メモリーしたあと、名前を付ける放送局をプリセット選局する。（➪ 24 ・ 25 ページ）

1 TEXT EDIT　受信中に
押す

2 CANCEL　手動入力モード（"■"表示が点滅）になるまで
ポンポンと押す

押すたびに
記憶している局名 ⇄ 手動入力モード
1 つの周波数に複数の局名があるときは、押すたびにそれらを順に表示したあと、手動入力モードになります。

3 ENTER　**押す**
文字入力画面になります。

4 **文字を入力する（➪ 34 ページ）**

5 ENTER　**押す**

Lovely FM
FM 3 80.0 MHz

（入力完了）

■途中で解除するには
手順 5 を行うまでに、［TEXT EDIT］を押す。

本機に記憶されている放送局名一覧表

FM 編

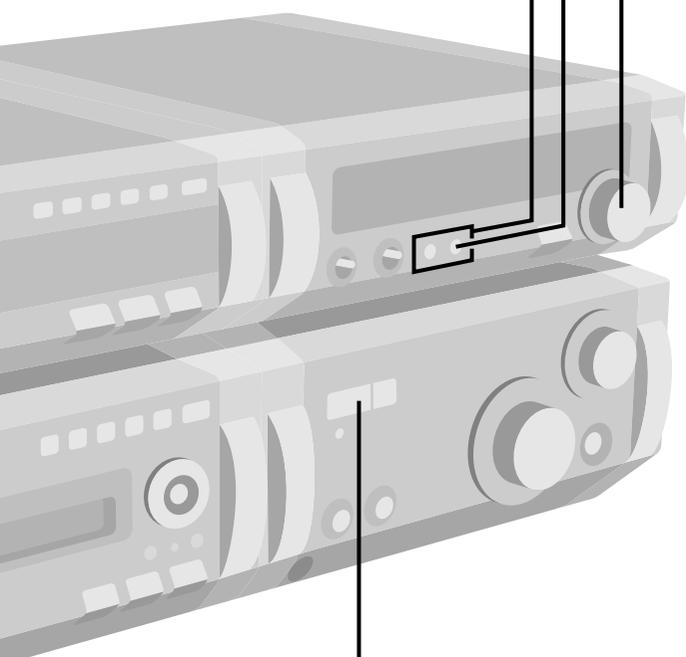
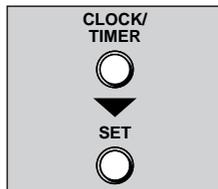
周波数	放送局名
76.1MHz	Inter FM
	Love FM
	FM IWATE
	FM フクイ
76.4	RADIO BERRY
76.5	FM CO·CO·LO
76.8	FM オカヤマ
77.0	E-Radio
	CROSS FM
77.1	Date fm
	ホウソウダイガク
77.4	FMK
	V-air
	NHK-FM
77.5	FM-NIIGATA
77.6	Kiss-FM KOBE
77.7	FM ヤマグチ
77.8	ZIP-FM
77.9	FM SAGA
78.0	bayfm
78.2	HIROSHIMA FM
78.6	FM カガワ
	FM-FUJI
78.7	CROSS FM
78.8	V-air
	ホウソウダイガク
78.9	FM MIE
	NHK-FM
79.0MHz	NHK-FM
79.2	K·MIX
	FM ヤマグチ
79.5	NACK5
	SMILE-FM
79.7	FM エヒメ
	FM NAGANO
79.8	µ FM
80.0	TOKYO FM
	FM アオモリ
	FM FUKUOKA
80.1	NHK-FM
80.2	FM802
80.3	NHK-FM
80.4	AIR-G'
	FM ヤマガタ
	NHK-FM
80.5	HELLO FIVE
	NHK-FM
80.7	FM AICHI
	FM FUKUOKA
	FM トクシマ
	NHK-FM
81.3	J-WAVE
	NHK-FM
81.4	NHK-FM
81.5	NHK-FM
81.6	FM KOCHI
	NHK-FM
81.7	NHK-FM
81.8	フクシマ FM
	NHK-FM
81.9	NHK-FM
82.0	NHK-FM
82.1	NHK-FM
82.2	NHK-FM
82.3	NHK-FM
82.4	NHK-FM
82.5	NORTH WAVE
	NHK-FM
82.6	NHK-FM
82.7MHz	FM TOYAMA
	NHK-FM
82.8	Co-much FM
	NHK-FM
82.9	NHK-FM
83.0	FM-FUJI
	NHK-FM
83.1	NHK-FM
83.2	JOY FM
	NHK-FM
83.3	NHK-FM
83.4	NHK-FM
83.5	NHK-FM
83.6	NHK-FM
83.7	NHK-FM
83.8	NHK-FM
83.9	NHK-FM
84.0	NHK-FM
84.1	NHK-FM
84.2	NHK-FM
84.3	NHK-FM
84.4	NHK-FM
84.5	NHK-FM
84.6	NHK-FM
84.7	Fm yokohama
	NHK-FM
84.8	NHK-FM
84.9	NHK-FM
85.0	NHK-FM
85.1	fm osaka
	NHK-FM
85.2	NHK-FM
85.3	NHK-FM
85.4	NHK-FM
85.5	NHK-FM
85.6	NHK-FM
85.7	NHK-FM
85.8	NHK-FM
85.9	NHK-FM
86.0	NHK-FM
86.1	NHK-FM
86.2	NHK-FM
86.3MHz	FM グンマ
	NHK-FM
86.4	FM NAGANO
86.5	FM-NIIGATA
	NHK-FM
86.6	V-air
86.7	NHK-FM
86.8	NHK-FM
86.9	NHK-FM
87.0	NHK-FM
87.3	FM OKINAWA
87.4	NHK-FM
87.5	NHK-FM
87.6	NHK-FM
87.7	NHK-FM
87.8	NHK-FM
87.9	NHK-FM
88.0	Air Radio
	NHK-FM
88.1	NHK-FM
88.2	NHK-FM
88.3	NHK-FM
88.4	NHK-FM
88.5	NHK-FM
88.6	NHK-FM
88.7	NHK-FM
88.8	NHK-FM
88.9	NHK-FM
89.0	NHK-FM
89.1	AFN オキナワ
	NHK-FM
89.2	NHK-FM
89.4	α-STATION
89.5	NHK-FM
89.6	NHK-FM
89.7	NHK-FM
89.8	NHK-FM
89.9	Kiss-FM KOBE
	NHK-FM

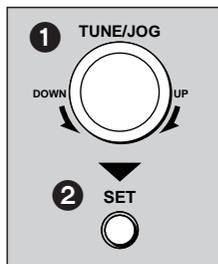
AM 編

周波数	放送局名
531kHz	NHK-1
540	NHK-1
549	NHK-1
558	AM コウベ
567	NHK-1
576	NHK-1
585	NHK-1
594	NHK-1
603	NHK-1
612	NHK-1
621	NHK-1
639	STV ラジオ
	NHK-1
	NHK-2
648	AFN
	NHK-1
666	NHK-1
675	NHK-1
684	IBC イワテホウソウ
	NHK-1
693	NHK-2
702	NHK-2
720	キュウシュウアサヒ
729	NHK-1
738	キタニホンホウソウ
	リュウキュウホウソウ
747	NHK-2
756	NHK-1
765kHz	ヤマナシホウソウ
	ヤマグチホウソウ
774	NHK-2
792	NHK-1
810	AFN
819	NHK-1
828	NHK-2
837	NHK-1
846	NHK-1
864	ラジオオキナワ
	フクイホウソウ
	HBC ラジオ
	シンエツホウソウ
873	NHK-2
882	STV ラジオ
	NHK-1
891	NHK-1
900	HBC ラジオ
	BSS サンインホウソウ
	コウチホウソウ
909	STV ラジオ
	NHK-2
918	ヤマガタホウソウ
	ヤマグチホウソウ
927	NHK-1
936	アキタホウソウ
	MRT ミヤザキホウソウ
945	NHK-1
954	TBS ラジオ
963	NHK-1
981	NHK-1
990	NHK-1
999	NHK-1
1008	ABC アサヒホウソウ
1017	NHK-2
1026	NHK-1
1035	NHK-2
1053	CBC ラジオ
1071	STV ラジオ
	NHK-1
1089	NHK-2
1098kHz	ラジオフクシマ
	シンエツホウソウ
	OBS オオイタホウソウ
	ナガサキホウソウ
1107	MBC ミナミニホン
	ホクリクホウソウ
1116	ニイガタホウソウ
	ナンカイホウソウ
1125	NHK-2
1134	ブンカホウソウ
1143	KBS キョウト
1152	NHK-2
1161	NHK-1
1179	MBS マイニチホウソウ
1188	NHK-1
1197	クマモトホウソウ
	イバラキホウソウ
	RKB マイニチホウソウ
	STV ラジオ
1215	KBS キョウト
1224	NHK-1
1233	アオモリホウソウ
	ナガサキホウソウ
1242	ニッポンホウソウ
1260	トウホクホウソウ
1269	シコクホウソウ
	HBC ラジオ
1278	RKB マイニチホウソウ
1287	HBC ラジオ
1296	NHK-1
1314	ラジオ オオサカ
1323	NHK-1
1332	トウカイラジオ
1341	NHK-1
1350	RCC チュウゴク
1359	NHK-2
1368	HBC ラジオ
	NHK-1
1377	NHK-2
1386	NHK-2
1395	ラジオフクシマ
	AM コウベ
1404kHz	SBS シズオカホウソウ
	HBC ラジオ
1413	キュウシュウアサヒ
1422	ラジオニッポン
1431	ワカヤマホウソウ
	ギフラジオ
	BSS サンインホウソウ
	ラジオフクシマ
1440	STV ラジオ
1449	ニシニッポンホウソウ
	HBC ラジオ
1458	ラジオフクシマ
	イバラキホウソウ
	ナガサキホウソウ
	RCC チュウゴク
1467	NHK-2
1476	NHK-2
1485	アオモリホウソウ
	ヤマグチホウソウ
1494	サンヨウホウソウ
	HBC ラジオ
1503	NHK-1
1512	NHK-2
1521	NHK-2
1530	トチギホウソウ
	ニイガタホウソウ
	RCC チュウゴク
1539	NHK-2
1575	AFN
1584	NHK-1
1593	NHK-2
1602	NHK-2

放送局名の表記は、1999 年 7 月現在のものです。

おめざめタイマーを使う

準備
① **電源を入れる**
② **時計を合わせる**
(➪10 ページ)
③ ●**ラジオ使用時は放送局を記憶させる**
(➪ 24 ページ)
●**CD、MD 使用時はディスクを入れる**

1

押して
" ◴ PLAY "
を選び
約 15 秒以内に
押す

2

「❶ 回して（選択）**→**
❷ 押す（確定）**」の操作で、以下の項目を順に設定します。**

① **" ◴PLAY SET "を選ぶ**

② **曜日を選ぶ**

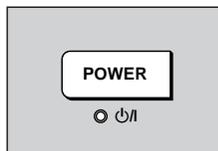
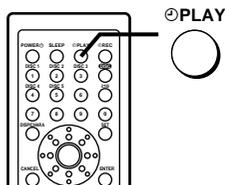
③ **開始時刻を選ぶ**

④ **終了時刻を選ぶ**

⑤ **ソース（音源）を選ぶ**
●ラジオのときは、もう一度同じ操作をしてチャンネルも選ぶ
●EXT のときは同時刻にタイマー動作するように別売り機器側を設定

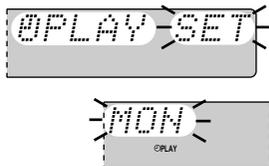
⑥ **おめざめ時の音量を選ぶ**
●確認の意味で、設定した各項目を 3 秒間ずつ表示

3

押して
電源を切る

■タイマーを動作させないようにするには
電源を入れてから操作します。

●**リモコンで**
［◴PLAY］を押して " ◴PLAY " を消す。

押すたびに
CLOCK→ ⊙PLAY → ⊙REC
↑―――元の表示 ←―┘

例：月曜日の朝 6 時 30 分から 7 時 40 分まで、CD を音量 40 デシベルで聞く。

“ SUN ”“ MON ” … “ FRI ”“ SAT ”
：毎週の各曜日
“ SUN TO SAT ”：毎日
“ MON TO SAT ”：日曜を除く毎日
“ MON TO FRI ” ：土日を除く毎日
“ SAT、SUN ” ：毎週の土日だけ

回すたびに
CD⇄（TAPE）⇄MD⇄EXT⇄FM⇄AM
- RS-HD615（別売り）接続時は TAPE も選択可能

予約時刻になると、設定した音量までフェードインして（徐々に大きく）演奏します。

- **本体で**

① [CLOCK/TIMER] で“ ⊙PLAY ”を選び、[SET] を押す。
② [TUNE/JOG] で“ ⊙ PLAY CANCEL ”を選び、[SET] を押す。

おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

指定した時間がくると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら
押して演奏時間を指定する

押すたびに
SLEEP30 →60 →90 →120 →OFF
↑―――――――――――――┘

（単位：分）

解除するには

[SLEEP] を押して“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■残り時間を確かめるには

[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

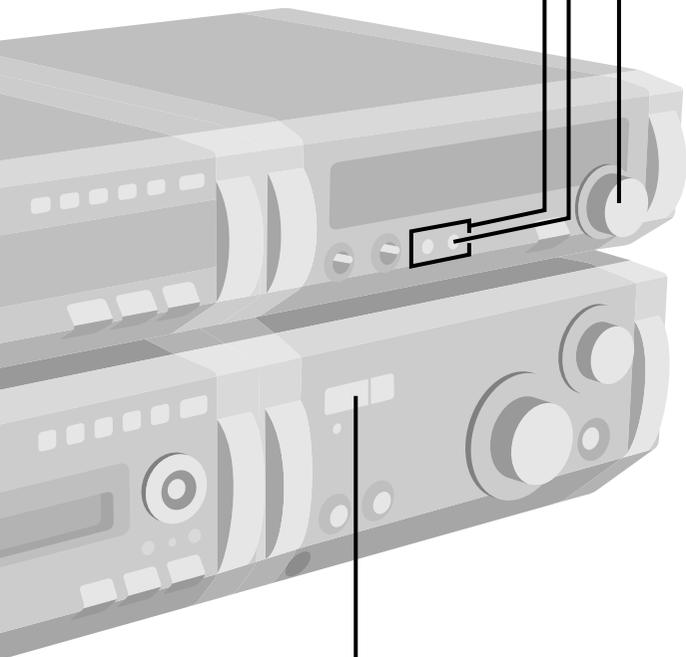
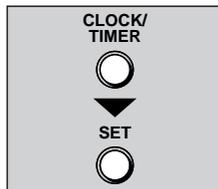
■残り時間を変えるには

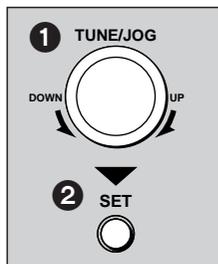
[SLEEP] をポンポンと押して、新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマー動作中に、AI エディットすると、おやすみタイマーは強制的に解除されます。

留守録タイマーを使う

準備
① **電源を入れる**
② **時計を合わせる**
(⇨10 ページ)
③ **ラジオ使用時は放送局を記憶させる**
(⇨ 24 ページ)
④ **録音用 MD を入れる**
● RS-HD615（別売り）接続時はテープにも録音可能

1

押して
“ ◴ REC ” を選び
約 15 秒以内に
押す

2

「❶ 回して（選択）**→ ❷ 押す**（確定）**」の操作で、以下の項目を順に設定します。**

① **“ ◴REC SET ” を選ぶ**

② **曜日を選ぶ**

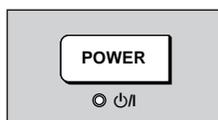
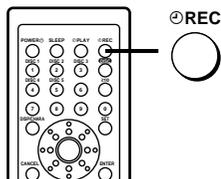
③ **開始時刻を選ぶ**

④ **終了時刻を選ぶ**

⑤ **ソース（音源）を選ぶ**
- ラジオのときは、もう一度同じ操作をしてチャンネルも選ぶ
- EXT のときは同時刻にタイマー動作するように別売り機器側を設定

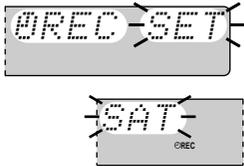
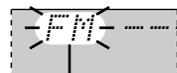
⑥ **録音先を選ぶ**
- MD ALL 選択時は DISC1 → DISC5 の順に録音
- 確認の意味で、設定した各項目を 3 秒間ずつ表示

3

押して
電源を切る

■タイマーを動作させないようにするには
電源を入れてから操作します。

● リモコンで
[◴REC] を押して “ ◴REC ” を消す。

押すたびに
CLOCK→ ◷PLAY → ◷REC
元の表示 ←

例：土曜日の夜 6 時 30 分から 7 時 30 分まで、FM 放送を複数の MD に続けて録音する。

“ SUN ”“ MON ” ... “ FRI ”“ SAT ”
：毎週の各曜日
“ SUN TO SAT ” ：毎日

回すたびに
EXT⇄FM⇄AM

回すたびに
REC MD1⇄2⇄3⇄4⇄5
↓↑ ↓↑
(TAPE) ⇄MD ALL（全部）

- RS-HD615（別売り）接続時は TAPE も選択可能

頭切れを防ぐため、予約時刻の 30 〜 60 秒前になると、自動的に消音状態で録音が始まります。

- **本体で**

① [CLOCK/TIMER] で “ ◷REC ” を選び、[SET] を押す。
② [TUNE/JOG] で “ ◷ REC CANCEL ”を選び、[SET] を押す。

いろいろなタイマー操作について

■予約内容を変えたり、操作をまちがえたときは

リモコンの［◷PLAY］（または［◷REC］）を押して、いったん “ ◷PLAY ”（または “ ◷REC ”）を消したあと、手順 1 からやり直す。

■予約内容を確かめるには

［CLOCK/TIMER］を押して “ ◷PLAY（または ◷REC）” を表示させる。
自動的に、以下の表示を数秒間ずつ行います。

- おめざめタイマー

曜日→開始時刻→終了時刻→ソース（音源）→音量

- 留守録タイマー

曜日→開始時刻→終了時刻→ソース（音源）→録音 MD（または録音機器）

■予約後に本機で演奏を楽しむには

① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
② 演奏後は電源を切る。
音量やソースを変更しても、タイマー動作には影響しません。

■タイマー動作する／動作しないを選ぶには

電源を入れたとき、“ ◷PLAY ”（または “ ◷REC ”）が点灯中は、予約通りに動作します。動作させないときは、リモコンの［◷PLAY］（または［◷REC］）で表示を消します。

お知らせ

- タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。
- タイマー動作中に電源を入れ直すと、終了時刻の動作は行いません。
- タイマーは組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、予約時間が重ならないようにしてください。
- 留守録タイマーで “ MD ALL ” を選んだ場合、MD のディスクチェンジ中は音が途切れます。

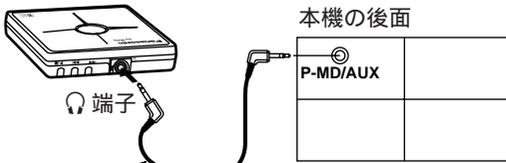
MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーや、ビジュアル／タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

MD ネットワーク対応の ポータブル MD プレーヤーをつなぐ

●本機からポータブル MD プレーヤーをコントロールして、録音／タイトルコピーが簡単に行えます。

対応品

カタログに、このマークの付いているポータブル MD プレーヤーです。（SJ-MJ75 など）

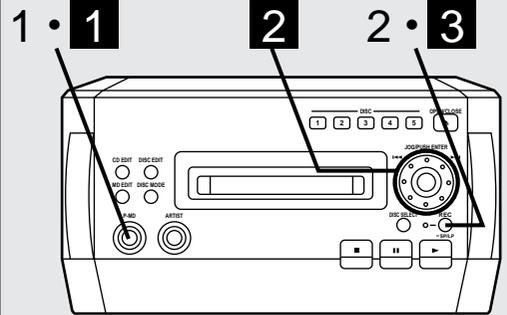
●電源を切った状態で接続してください。
●プラグはグッと奥まで差し込んでください。

MD ネットワークコード（別売り：RP-CAM9G15）

お願い

ポータブル MD プレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こるおそれがあります。

お知らせ

●MD ネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。
●録音先の MD にディスクタイトルがついているとき、録音元 MD のディスクタイトルはコピーされません。

ネットワーク機能で MD から MD に録音する

MD チェンジャーデッキ

●録音元 MD にタイトルが付いているときは、そのタイトルが録音先の MD（本機側）に自動的にコピーされます。

全曲録音したとき：
全曲のトラックタイトルとディスクタイトル

1 曲ずつ録音したとき：
録音した曲のトラックタイトルのみ

●市販の演奏専用 MD から録音する場合、タイトルはコピーされません。

準備：① ポータブル MD プレーヤーに、録音元 MD を入れる。
② 本機の電源を入れ、録音用 MD を入れる。

■録音用 MD には、少し余裕のあるものを

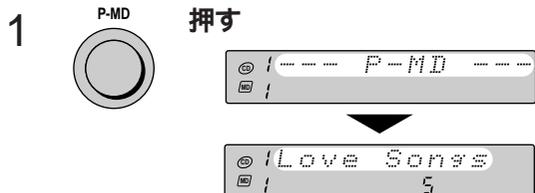
録音元 MD にトラックマークが付いているときは、新たに録音した MD の同じ位置に、約 1 秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は、録音元 MD の演奏時間より長くなります。
録音の失敗を防ぐために、少し長めの MD をお使いください。

■録音が終わったら

ポータブル MD プレーヤーの電池の消耗を防ぐため、MD ネットワークコードを抜いてください。

■“ P-MD ”が点滅したら

ボタン操作がない状態で約 4 分以上放置されているため、MD ネットワークが休止状態になっています。
ネットワーク機能を使うときは、もう一度［P-MD］を押してください。

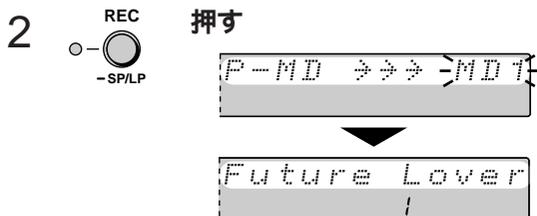
全曲録音するには

1

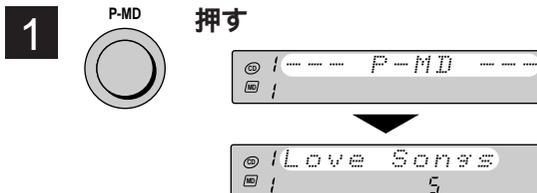
押す

Love Songs
5

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブル MD 側の総曲数とタイトルが表示されます。
ポータブル MD 側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されます。

2

押す

- 自動的に録音が始まります。
- 全曲の録音が終わると、“ UTOC Writing ” と点滅して自動停止します。

1 曲ずつ録音するには

1

押す

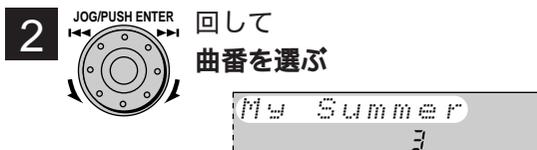
Love Songs
5

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブル MD 側の総曲数とタイトルが表示されます。
ポータブル MD 側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されます。

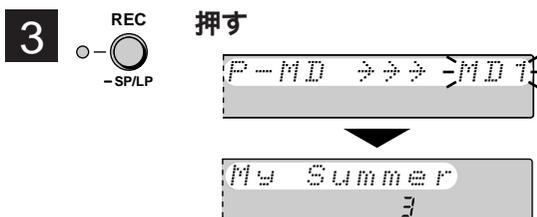
2

JOG/PUSH ENTER

回して
曲番を選ぶ

My Summer
3

確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。

3

押す

- 自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
- 1 曲の録音が終わると、“ UTOC Writing ” と点滅して自動停止します。

■動作中（TOC 読み込みなど）に“ P-MD ERROR ” と表示したら

MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD プレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度［P-MD］を押してください。

お知らせ

ネットワーク機能による MD → MD 録音は、MD ネットワーク対応の**ポータブル MD プレーヤー**でのみ可能です。

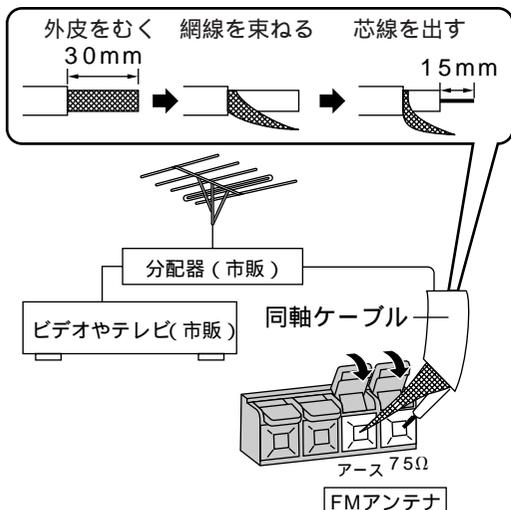
■ビジュアル／タイトルプリンター（対応品： SH-CP30）もつなげます

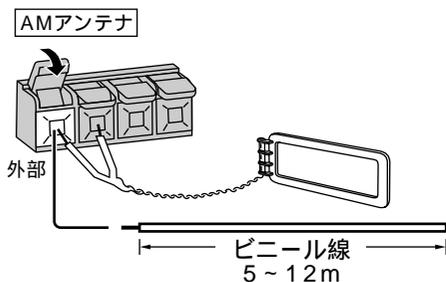
MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベルが印刷できます。
操作方法は、ビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

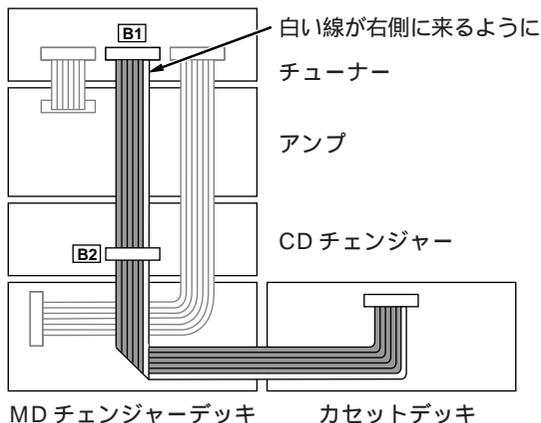
FM（テレビアンテナの利用）

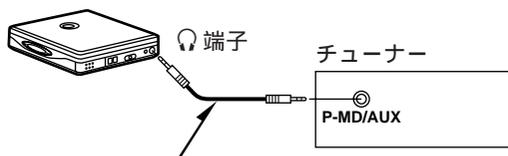
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに水平に設置します。

別売り機器の接続

別売り品の品番は、1999 年 8 月現在のものです。品番は、変更されることがあります。

専用カセットデッキ RS-HD615

カセットデッキ後面のフラットケーブルで、チューナー、CD チェンジャーに接続します。
本機に付属している短いほうのフラットケーブルは不要です。

- ヨコ置きするときは、RS-HD615 の説明書をお読みください。

ポータブル MD プレーヤー

ミニ・ミニラインコード
（別売り： RP-CAM3G15、1.5m）

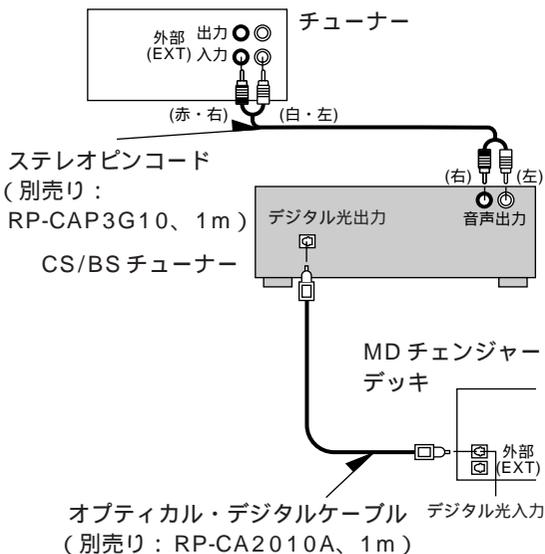
MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーで、ネットワーク機能を使う場合は、44 ページの方法で接続してください。

お願い

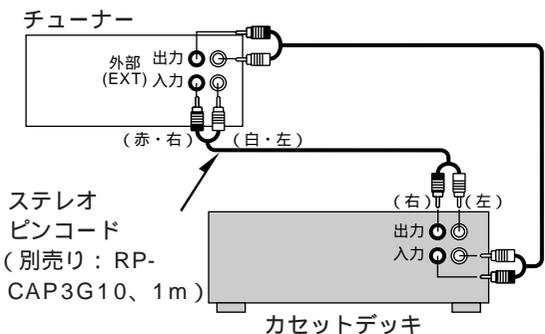
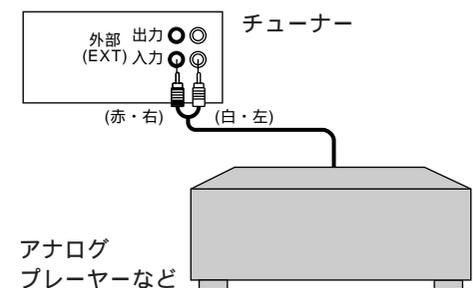
- P-MD/AUX 端子は、ポータブル MD プレーヤーとビジュアル／タイトルプリンター専用です。
  端子の感度が通常とは異なるため、他の機器はつながないでください。
- ミニ・ミニラインコード使用時に音が歪む場合は、ポータブル MD プレーヤーの音量を調節してください。また、お手持ちの機器に LINE OUT 端子がある場合でも、必ず 🎧（ヘッドホン）端子に接続してお使いください。

別売り機器を使う

CS/BS チューナー、お手持ちのカセットデッキ、アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など

●CS/BS チューナーなどのデジタル機器

お願い

光入力端子を使わないときは、防塵キャップを付けておいてください。ほこりが入って誤動作の原因になるのを防ぎます。

●お手持ちのカセットデッキ

●アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など

アナログプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザー（市販）が必要です。
そのままつなぐと、音が小さくなります。
推奨品：パナソニック SL-J8
（フォノイコライザー内蔵）

つないだ機器の演奏を本機で楽しむ

1 INPUT SELECTOR ◀ ▶ 押して
ソース（音源）を選ぶ

押すたびに
CD⇄TAPE⇄MD⇄AUX⇄EXT⇄TUNER

TAPE ：専用カセットデッキ
AUX ：P-MD/AUX 端子に接続した機器
EXT ：EXT 端子に接続した機器

2 **ソースの演奏を始める**

■つないだ機器から本機（MD）に録音するには

① [INPUT SELECTOR（◀ または ▶）] を押して、つないだ機器を選ぶ。（上記手順 1）
② [REC]を押して、録音方法を選ぶ。
③ MD 側の[▶]を押す。
録音が始まります。
④ ソースの演奏を始める。

録音を止めるには

MD 側の[■]を押す。（ソースの演奏も止める。）
“ UTOC Writing ” の点滅後、録音が完了します。

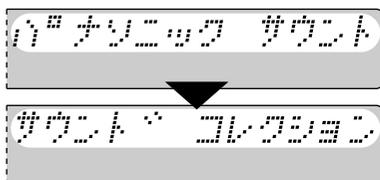
お知らせ

- 本機には、サンプリングレートコンバーター機能が付いているため、CD（44.1kHz）だけでなく、CS/BS チューナー（32kHz、48kHz）のデジタル音声も録音できます。
- デジタル機器を、EXT 端子のアナログとデジタル（光入力）の両方につないでいるときは、自動的にデジタル入力になります。

長いタイトルを見る

リモコンのみ

SCROLL 押す

“ SCROLL ON ” と出たあと、表示が連続してスクロールします。

解除するには

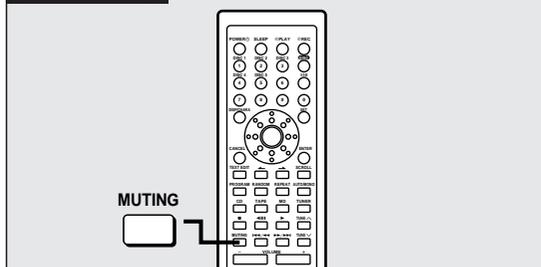
［SCROLL］を押して、“ SCROLL OFF ” を選ぶ。

お知らせ

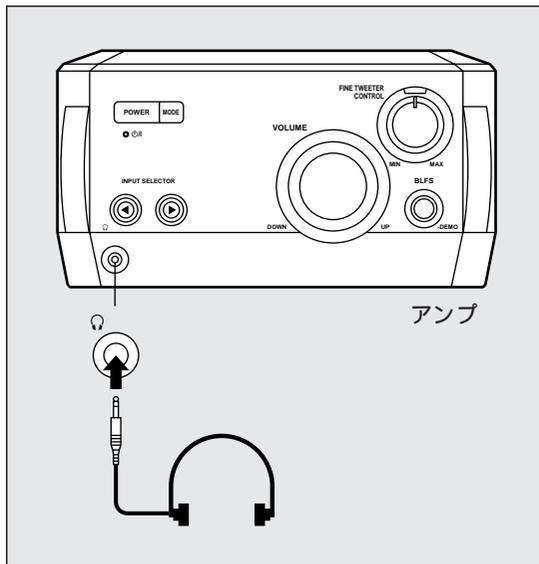
表示が 12 文字以下のときは、表示パネルの中央に表示されます。ボタンを押してもスクロールしません。

一時的に消音する

リモコンのみ

電話がかかってきたときなどに便利です。

MUTING 押す

- **解除するには**
  ［MUTING］を押して、“ MUTING OFF ” を選ぶ。
- **本体で解除するには**
  ［VOLUME］で音量を下げ、“ ーー dB ” を表示させる。（電源を切っても解除されます）

ヘッドホン（別売り）で聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品：RP-HT550、RP-HT400

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

お手入れ

■本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）に浸した布を、固く絞り、ふき取ったあと、乾いた布でふいてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ MDをよい音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーなどで、ときどき清掃されることをおすすめします。

MD レンズクリーナー（別売り：RP-CL310）

MD 録音ヘッドクリーナー（別売り：RP-CL320）

本機を移動するときは

① MDとCDをすべて取り出す

② ［POWER］を押して、電源を切る

③ 電源プラグを抜く

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会

☎03-5353-0336

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本　　部	(03)3502－6551	中部支部	(052)583－7590
北海道支部	(011)221－5088	北陸支部	(0762)21－3602
盛岡支部	(0196)52－3201	京都支部	(075)251－0134
仙台支部	(022)264－2266	大阪支部	(06)6244－0351
大宮支部	(048)643－5461	大阪北支部	(06)6244－7077
東京支部	(03)3562－4455	神戸支部	(078)322－0561
西東京支部	(03)3232－8301	中国支部	(082)249－6362
東京イベント・コンサート支部	(03)5286－1671	四国支部	(0878)21－9191
立川支部	(0425)29－1500	九州支部	(092)441－2285
横浜支部	(045)662－6551	鹿児島支部	(0992)24－6211
静岡支部	(054)254－2621	那覇支部	(098)863－1228

MD について

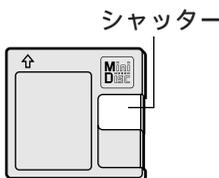
MD の種類

■演奏専用 MD

録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

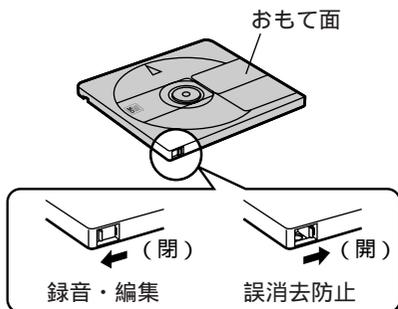
■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD1 枚への録音曲数は、収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらします。新たに録音・編集するときは閉じてください。

■デジタル録音の制限について

デジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています（“ コピーのコピー ” 禁止）。
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音・編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
“ UTOC Writing ” の点滅前に電源が切れると、録音・編集が MD に記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。
ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

■TOC（トック）（Table of Contents）

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

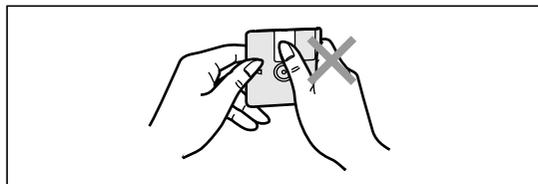
■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

自分で自由に書き換えられる TOC です。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC が書き込まれているときは、“ UTOC Writing ” と表示され、注意を促します。

■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

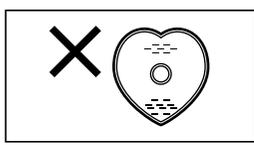
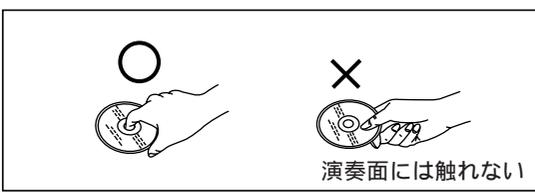
取扱上のお願い

- 指定外の位置にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので、使用しないでください）
- シャッターを開かない
（万一開いてしまったときは、すぐ閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください）

CD について

このマークが入ったものをご使用ください。

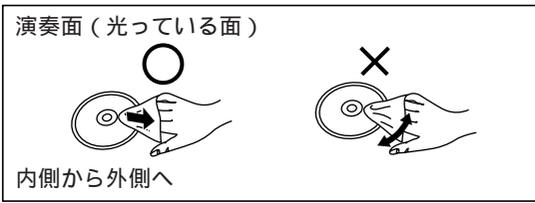
ただし、ハート型など、特殊形状の CD は使わないでください。（機器の故障の原因になります）

■持ちかた

演奏面には触れない

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

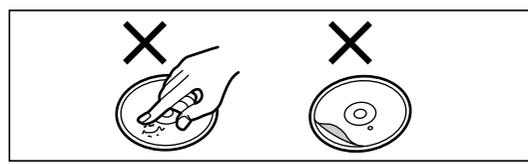
演奏面（光っている面）

内側から外側へ

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

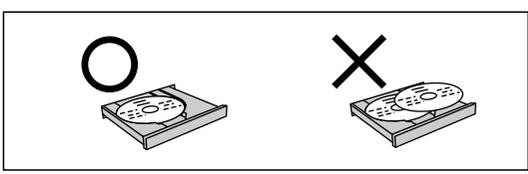
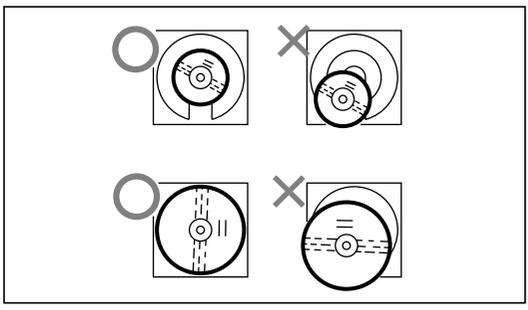
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシールを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

MD・CD の保管

次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

故障防止のために

MD/CD 使用時は、故障防止のために、次のことをお守りください。

- 水平なところで使用する（本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください）
- 内部のメカニズムが動いているあいだや、MD/CD を入れたまま、本機を移動しない
- 挿入口／トレイに、MD/CD 以外のものを入れない
- トレイには 1 枚の CD を入れる

- CD は図の位置に正しく置く

- シングル CD（8cm CD）アダプターは使わない
- クリーニング CD、そりの大きな MD/CD、割れたりヒビの入っている MD/CD は使わない

Q & A

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい**	現在、アンプの“フォノ”または“プレーヤー”端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	47
	有線放送をつなぎたい	チューナーの「外部（EXT）」の「入力」端子に接続します。	47
	TVをつなぎたい	チューナーの「外部（EXT）」の「入力」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	47
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
	専用カセットデッキRS-HD615の接続方法は	縦置きする場合は、本取扱説明書の記載に従って接続してください。横置きする場合は、カセットデッキの説明書3ページをご覧ください。	46
	専用カセットデッキRS-HD615をつないだらフラットケーブルが1本余ってしまう	カセットデッキ後面のケーブルを使って、カセットデッキとCDチェンジャー、チューナーを接続します。 このため、システムに付属のCDチェンジャーとチューナー接続用のケーブルは不要となります。	46
MDへの録音	**MDネットワーク対応機器について教えて**	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	44・45
	複数のMDに同時録音したり、本機でMDからMDに録音したい。	本機には、そうした機能はありません。	
	長時間のラジオ番組などを、複数のMDに続けて録音できる？	録音できます。 MDを“ALL DISCS”モードにして、ラジオを録音してください。	20・28
	MDで長時間録音（モノラル録音）する方法は	“LP MONO”と表示するまで、[REC、－SP/LP]を押し続けます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	
	録音済みMDに上書き録音したい	MDの録音方法はテープとは違います。上書き録音にはなりません。 以前の録音を消して新たに録音する場合は、イレース機能で消去します。	33
	録音済みMDの続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音レベルは一定です。 録音中に音量や音質を調整してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。	

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　置
− − : − −	電源コードを接続した直後か、あるいは停電のあった可能性があります。	時計を合わせてください。
BLANK DISC	録音されていないMDが入っています。	新しく録音するとき以外は、録音済みのMDに取りかえてください。
CANNOT COMBINE	コンバインできない曲をつなごうとしました。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT DIVIDE	ディバイドできない曲を分けようとしました。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT EDIT	プログラム／ランダムプレイ中に、MD編集しようとしました。	MD編集するときは、プログラム／ランダムプレイを解除してください。
CANNOT REC	入力切換をMDにして、MDに録音しようとしました。	他の入力ソースに切り換えて録音してください。
DISC ERROR	MDに異常があるか、損傷しています。	MDを取りかえてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MDを入れ直して、操作し直してください。
ERROR	適切でない操作をしたか、操作をまちがえています。	取扱説明書を見て、正しく操作してください。
F15	メカニズムが故障しています。	販売店にご相談ください。
F61	アンプに異常が発生しました。	販売店にご相談ください。
LOAD ERROR/ Press CLOSE!	MDを出し入れしているときに、不具合が起こりました。	MDを取り出し、[⏏OPEN/CLOSE]を押します。 挿入方向と、シャッターが閉じているのを確認して、もう一度入れてください。 それでも表示が消えないときは故障です。販売店にご相談ください。
MD DIGITAL IN UNLOCK	デジタル（光）入力端子につながずに、録音しようとしました。	オプティカル・デジタルケーブルの接続を確認してください。
MD DISC FULL	MDの空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取りかえてください。
MD DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
MD PLAYBACK DISC	演奏用MDを録音・編集しようとしました。	録音用MDに取りかえてください。
NO DISC	MDまたはCDが入っていません。	必要に応じて、MDまたはCDを入れてください。(➪13、15ページ)
Take out MD!/ Press CLOSE!	挿入方向をまちがえていませんか。	MDを取り出し、[⏏OPEN/CLOSE]を押します。 挿入方向と、シャッターが閉じているのを確認して、もう一度入れてください。
TRACK NOT EQUAL	読み込んだタイトル数と、コピー先MDの曲数が異なります。コピーできません。	タイトルと曲の数を同じにして、コピーしてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの領域の空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
	録音曲数が最大（254曲）になっているので録音できません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取りかえてください。
U70	フラットケーブルがはずれかけていませんか。	フラットケーブルを正しく接続する。それでも“U70”表示が消えないときは故障です。販売店にご相談ください。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここをご確認ください	処置	参照ページ
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコード先端のビニールコード部分を抜かないまま接続していませんか。	スピーカーコード先端のビニール部分を抜いてから接続する。	9
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの（+）（−）を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	9
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	9
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	
	演奏中に音が出なくなった。	スピーカーコードの（+）（−）がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	9
	電源「切」時に時計が表示されない。	ECO モードになっていませんか。	ECO モードのままで、時計を表示させるときは［CLOCK/TIMER］を押す。	11
			［MODE］を押して、ECO モードを NORMAL モードに切り換える。	11
	SPOT ON/OFF が効かない。	デモ機能が働いていませんか。	DEMO モードを「切」にする。	10
	ECO モードにしているのに電源「切」時に表示が消灯しない。			
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の（+）（−）が逆になっていませんか。	（+）（−）を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	46
	ステレオ放送で雑音が多く、時々音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	" STEREO " が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		
		テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源を切ってみる。	
	ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	高感度の専用アンテナを設置し、良い方向を探す。	
AM	雑音が多い。	テレビと同時に使用していませんか。	テレビの電源を切る。または距離を離す。	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
		フラットケーブルが AM ループアンテナに接近していませんか。	フラットケーブルと AM ループアンテナを離す。	
CD	CD を入れても、あるいは演奏しても、表示パネルに総曲数などの表示が出ない。 演奏ボタンを押しても演奏が始まらない。	CD が表裏逆に入っていませんか。	もう一度入れなおす。	15
		CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	51
		CD に傷が付いていませんか。	新しい CD と取り替える。	
		CD が極端に反っていませんか。		
		規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	51
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	
	特定の箇所が正常に演奏しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	51

	こんなとき	ここをご確認ください	処置	参照ページ
MD	演奏できない。	MD が入っていますか。	MD を入れる。	13
		録音した MD が入っていますか。	曲の入っている MD に入れかえる。	
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	
	録音できない。	演奏専用 MD が入っていませんか。	録音用 MD に取りかえる。	
		誤消去防止状態になっていませんか。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。	50
		接続をまちがえていませんか。	正しく接続しなおす。	8 ～ 9
	ディスクのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MD に記録できる文字数（英数記号で最大 1700 文字。カナは約その半分）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけなおす。	34～37
	MD を入れても、自動的に引き込まれない。 MD を入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中の MD に、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	
		［⏏OPEN/CLOSE］を押して MD 扉を開きましたか。	MD を入れるときは、［⏏OPEN/CLOSE］を押して、MD 扉を開いてください。扉が閉じた状態で入れることはできません。	
	デジタル光入力に接続したが、本機で音が出ない。録音はできる。	ステレオピンコードでチューナーにも接続していますか。	ステレオピンコードでチューナーの「外部（EXT）」の「入力」端子にも接続してください。	47
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	

以下のようなときは、MD のシステム上の制約です。別の MD で操作をして、問題がなければ本機の故障ではありません。

こんなとき	原因
曲数が最大ではないのに“UTOC FULL”が表示される。	部分録音／部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
コンバイン／ディバイド機能が使えないことがある。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り／早戻しすると、音の途切れることがある。	

本体

（⑮などの白抜き数字は参照ページです）
CDトレイふた
⏏OPEN/CLOSE（CDトレイ開閉）ボタン⑮
SETボタン⑪
DISC1～5（CD：ディスク選択）ボタンとランプ⑭ ⑮
CLOCK/TIMER（時計／タイマー）ボタン⑪
表示パネル［チューナーだけでなく、MD、CD、アンプの状態も表示します］
CD TEXT（CD TEXT表示切換）つまみ⑮
⏮/⏪ ⏩/⏭（とび越し、早送り／早戻し）ボタン⑮
❚❚（一時停止）ボタン⑮
TUNE MODE（選局モード切換）つまみ⑰
BAND（バンド切換）ボタン⑰
TUNE/JOG（選局／ジョグ）つまみ⑰
■（停止）ボタン⑮
▶（演奏）ボタン⑮
SPOT（サイドライト）つまみ⑩
PLAY MODE（演奏モード切換）つまみ⑳
DISC EDIT（MD編集録音モード）ボタン㉗
DISC1～5（MD：ディスク選択）ボタンとランプ⑫ ⑬
⏮ ⏭JOG/PUSH ENTERコントロール⑬
MODEボタン⑪
FINE TWEETER CONTROL（高域調整）つまみ⑬
CD EDIT（CD編集録音）ボタン㉖
MD扉
⏏OPEN/CLOSE（MD扉開閉）ボタン⑬
POWER（電源）ボタンと⏻/Iランプ⑪
VOLUME（音量調節）つまみ⑬
DISC MODE（演奏モード切換）ボタン⑳
REC、－SP/LP（録音）ボタンとランプ⑲
◀▶INPUT SELECTOR（入力切換）ボタン㊼
▶（演奏）ボタン⑬
ARTIST（アーティスト・モード）ボタン㉓
❚❚（一時停止）ボタン⑬
🎧（ヘッドホン）端子㊽
BLFS、-DEMO（低音調整、デモ）ボタン⑩ ⑬
P-MD（切換）ボタン㊺
■（停止）ボタン⑬
MD EDIT（MD編集）ボタン㉚
DISC SELECT（MD：ディスク指定）ボタン⑲

表示パネル

リモコン

SLEEP（スリープタイマー入／切）ボタン ㊶

POWER⏻（電源）ボタン ⓫

数字ボタン ㉑

DISP/CHARA（表示／文字種切換）ボタン ⓳ ㉞

ジョグコントロール ㉞

CANCEL ボタン ㉟

TEXT EDIT（テキスト編集）と矢印ボタン ㉞ ㉟

PROGRAM ボタン ㉒

RANDOM ボタン ㉑

MD、CD 基本操作部

MUTING（消音）ボタン ㊽

◴PLAY（おめざめタイマー入／切）ボタン ㊵

◴REC（留守録タイマー入／切）ボタン ㊷

DISC（MD/CD：ディスク選択）ボタン ㉑

SET ボタン ㉞

ENTER ボタン ㉟

SCROLL（連続スクロール）ボタン ㊽

AUTO/MONO（受信モード切換）ボタン ⓱

REPEAT ボタン ⓴

入力切換ボタン ⓴ ㉕ ㊼

TUNE ∨∧（選局）ボタン ⓱

VOLUME（音量調節）ボタン ⓭

POWER⏻ SLEEP ◴PLAY ◴REC
DISC 1 DISC 2 DISC 3 DISC
DISC 4 DISC 5 ≥10
DISP/CHARA SET
CANCEL ENTER
TEXT EDIT SCROLL
PROGRAM RANDOM REPEAT AUTO/MONO
CD TAPE MD TUNER
MUTING TUNE
VOLUME

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

54～55ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、ＭＤステレオシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。(この期間は通商産業省の指導によるものです)

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

0120-878-365（パナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0699

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号
帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
函館 ☎ (0138)48-6631 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田 ☎ (018)826-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手 ☎ (019)639-5120 盛岡市羽場13地割30-3
宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形 ☎ (023)641-8100 山形市流通センター3丁目12-2
福島 ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

栃木 ☎ (028)689-3321 宇都宮市御幸町194-20
群馬 ☎ (027)352-1217 高崎市萩原町沖中205-18
水戸 ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2
つくば ☎ (0298)64-8090 つくば市花畑2丁目8-1
埼玉 ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
千葉 ☎ (043)208-6011 千葉市中央区星久喜町172
船橋 ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7
柏 ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
東京 ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨 ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川 ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟 ☎ (025)286-7725 新潟市東明1丁目8-14

中部地区

石川 ☎ (076)294-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山 ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298
福井 ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112
長野 ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7
静岡 ☎ (054)287-9000 静岡市西島765
名古屋 ☎ (052)819-0225 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岡崎 ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
岐阜 ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山 ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
三重 ☎ (059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (077)582-5021 守山市勝部町6丁目2-1
京都 ☎ (075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪 ☎ (06)6359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良 ☎ (0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2
和歌山 ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
兵庫 ☎ (078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1
米子 ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33
松江 ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19
出雲 ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416
浜田 ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町327-93
岡山 ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島 ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
山口 ☎ (0839)86-4050 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

香川 ☎ (087)868-9477 高松市勅使町152-2
徳島 ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知 ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
愛媛 ☎ (089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036 春日市春日公園3丁目48
佐賀 ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎 ☎ (095)830-1658 長崎市東町1949-1
大分 ☎ (097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35
宮崎 ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
熊本 ☎ (096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
天草 ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
鹿児島 ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-33
大島 ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

チューナー

■プリアンプ部
入力感度／入力インピーダンス
　EXT IN　：300mV/15kΩ
　P-MD/AUX　：70mV/8kΩ
出力レベル／出力インピーダンス
　EXT OUT　：250mV/1.5kΩ
■チューナー部
FM 受信周波数帯域　：76.0～108.0MHz（0.1MHz step）
アンテナ端子　：75Ω　不平衡
AM 受信周波数帯域　：522～1629kHz（9kHz step）
■タイマー部
時計　：電源同期方式　24時間表示
タイマー機能
　再生タイマー　：1回または毎日
　録音タイマー　：1回または毎日
　スリープタイマー　：30分間隔、最高120分
■総合
電源　：アンプから供給
寸法（幅×高さ×奥行）　：200×76×261.5㎜
質量　：1.2 kg

CD チェンジャー

■デジタル出力端子　：光出力×1
■オーディオ部
DA コンバーター　：1bit 2 DAC MASH
■信号フォーマット
標本化周波数　：44.1kHz
■ピックアップ
波長　：780nm
■総合
電源　：アンプから供給
寸法（幅×高さ×奥行）　：200×76×283㎜
質量　：1.8 kg

MD チェンジャーデッキ

■デジタル入出力端子
入力　：光入力×2
出力　：なし
■信号フォーマット
圧縮・伸張方式　：※ATRAC 方式
標本化周波数　：44.1kHz
サンプリングレート・コンバータ内蔵
■ピックアップ
波長　：780nm
■総合
電源　：アンプから供給
寸法（幅×高さ×奥行）　：200×104.5×259㎜
質量　：1.6 kg

アンプ

■アンプ部
実用最大出力（THD 10%、1kHz、6Ω、両チャンネル駆動）　：総合出力　46W（低域側：15W＋15W　高域側：8W＋8W）
全高調波ひずみ率（低域側）½最大出力、1kHz、6Ω　：0.09％
SN 比　：75dB
負荷インピーダンス　：6Ω
ヘッドホン端子　：ステレオミニ（M3）適合インピーダンス　16～32Ω
■総合
電源　：AC100V 50/60Hz
消費電力　：68W
寸法（幅×高さ×奥行）　：200×104.5×277㎜
質量　：3.5 kg

電源「切」時の消費電力　●ECO モードの場合：0.5W　●NORMAL モードの場合：9W

スピーカーシステム

型式　：2ウェイ2スピーカー・バスレフ・システム
使用スピーカー
　ウーハー　：12㎝コーンタイプ
　ツィーター　：2.5㎝セミドームタイプ
インピーダンス　：6Ω
許容入力
　MUSIC　：HIGH　30W　LOW　60W
　DIN　：HIGH　15W　LOW　30W
出力音圧レベル　：85dB/W（1.0m）
クロスオーバー周波数　：5kHz
再生周波数帯域　：43Hz～50kHz（－16dB）　50Hz～45kHz（－10dB）
寸法（幅×高さ×奥行）　：155×334×240㎜
質量　：3.1kg

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第10次高調波までの総和です。

※本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検　長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	SC-HD615MD

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT5180-S

F0899TK1099 (D)